【202	4年12月本委員会 用 語	検討経緯】 創作手話(新規)…◎ 合成手 意 味 備 考	話…〇			·保 ラベル追加· 本委員会結果	··△ 検討不可···× 検討経緯
			北海道	•	「自分」+「右手人差指をこめかみにつけ、上げて伸ばす」+「的」		
		「独創」…独自の新しい考え・	東北	•	「発明」「創る」「的」の表現		
		思いつきで、ものごとをつくり 出すこと。(例:「独創性に富	関東	•	「自分」+「アイディア、発想」+「的」		9班の案を参考に考案した。
	どくそうてき	む」など) 「独創的」…独創する能力があ	北信越	•	ひらめく/~的		<自分自身>の表現が必要。
1	独創的	るさま。また、独創されたもの	東海	保	口につけて(せんすいのいきつぎに似て)三重 の古い手話	組み合わせ	⇒<自分自身>+<アイデア>+<合う・○ ○的>
		であるさま。 (例:「独創的な人」「独創的な	近畿	ア	鼻の前をパチンとはじくように人差し指を立てる		※北海道班・関東班・四国班の案を採用
		アイデア」など)	中国	•	自分 + 的		※北海道班· 內 米班· 四国班の米也採用
		(goo国語辞書)	四国	•	/自分自身/思いつく/的		
			九州	•	アイディア + 作る + 的		
			北海道東北	•	指文字「り」+「便利」+「性」		
		「利便」…都合のよいこと。また、そのさま。便 利。	関東	Δ	「便利」+「性」の表現 「便利」(①あごをなでる ②手の甲をなでる)		9班とも<便利>の表現を使っていた。<便利
		(例:「使う人の利便を図る」「利便な方式」ない	北信越	•	A: 便利(頬の下)/性 B: 便利(手の甲)/性		>は2種類みられたが、協議の結果、あごをなでる表現を選択した。
2	りべんせい	「利便性」…便利であること。また、便利さの程	東海	•	便利 + 性質	● 組み合わせ	⇒<便利>+<性格・○○質>
	机反压	度。 (例:「利便性の向上」「利便性を提供する」「利	近畿	Δ	「便利」	// L 42 C	※東北班·北信越班①·東海班·近畿班·四国
		便性に優れる」「利便性が高い」など)	中国	Δ	便利		班①案を採用
		(goo国語辞書)	四国	•	/便利①顎を撫でる②手の甲を撫でる/性		
			九州	•	便利 + 性 「仲良く」+「平和」		
			北海道 東北	•	「契約」+「平和」の表現		
			関東	•	「戦争」+「友だち(和)」		「講和」は戦争が終わった後に結ぶので、<平
		交戦国が、互いに協定を結ん で戦争をやめ、平和を回復す	北信越	•	仲間/平和	ア●	和>の表現を入れた。
3	^{こうわ} 講和	ること。 (例:「講和を結ぶ」	東海	•	平和 + したしい	アレンジとの	CONTROL OF THE CONTRO
	PHT-17H	など) (goo国語辞書)	近畿	•	「友達」+「契約」	組み合わせ	⇒<平和>の2動作目+<契約・締結>
		(0	中国	Δ	平和		※中国班の案を採用
			四国	•	/講/和(手を取り合う)/		
			九州	•	平+復活(後ろのほうからもってくる) 「内」+「戦う」		
			東北	•	「国」+「内」+「戦争」の表現		
			関東	•	「内」+「戦争」		OTENTIFE PROTEIN フのナナゼ 田 い よ
		国内における、同じ国民どうし	北信越	•	内/荒い	_	9班ほぼ同じであり、そのまま採用とした。
4	ないせん	の戦い。内乱。	東海	•	内 + 戦争	● 組み合わせ	⇒<内・内側>+<戦争>
	1 1-54	(goo国語辞書ほか)	近畿	•	「内」+「戦争」	,,,,	※関東班・東海班・近畿班・中国班・四国班・ 九州班の案を採用
			中国	•	内+戦		76/1340×24/11
			四国	•	/内側/戦争/ 内+戦い		
			九州	0	左手掌に親指を立てて右手をのせ、震わせる		
			東北	•	「怖い」+「鳥肌が立つ(両手を交差させる)」		9班からはいろいろな案が出たが、大きく分ける
		> 71 (14.4-1-1.4-1-1	関東	保	両手を前に出し、少し震えて固まる。表情を付	<震撼A>	と手を震わせる動作と、足に見立てた2指を震わせる動作のどちらか。2つとも採用とし、A・Bと
		ふるい動かすこと。また、人を ふるえあがらせること。 (例:	北信越	ア	ける 鳥肌が立つイメージ(動画の通りです)	△ ラベルの追加	した。
5	_{しんかん} 震撼	「世間を震撼させた事件」「と つぜんの侵攻に世界が震撼し	東海	Δ			<震撼A> ⇒<こわいB・スリラー・臆病>と同じ
	反1%	た」など)	近畿	0	震え + 両手を交互に震わす様子	<震撼B> △	※東海班・中国班の案を採用
		(goo国語辞書ほか)	中国	•	びびる	ラベルの追加	<震撼B>
			四国	保	両手で鳥肌が立っていく様子		⇒<寒い・ホラー>と同じ ※班の案の採用なし
			九州	ア	心配を上にゆっくりと動かす		
			北海道	0	「右手5指を前へ出す」+「取る」		
			東北	0	「しっかり」+「奪う」の表現		9班の案を見ると、両手表現・片手表現があった
		暴力的にうばい取って自分の	関東	0	両手で前方をつかんで素早く手前に引く A : (人の場合)親指を奪うイメージ B : (物の場		が、片手表現のほうが強引な印象があり、「略
6	りゃくだつ	ものにすること。 (例:「現金輸送車を略奪する」	北信越	保	合)奪う	\triangle	奪」の意味に合っているということで採用した。
O	略奪	「略奪者」など)	東海	•	ムツ + うはう	ラベルの追加	⇒<獲得(取る)(取得)・奪う>と同じ ※水平の動作で強めに表す
		(デジタル大辞泉ほか)	近畿	0	襲って奪う様子		
			中国四国	△ 7	奪う 強く奪い取る様子		※中国班・九州班の案を採用
			九州	保	うばいとる		
			北海道	1×	「びっくり」+「驚く」		
			東北	•	「驚き」+「びっくり」の表現		
		ゴロー・サンファ 1。 数を取り(も、こは)	関東	保	両手の5指を曲げ指先を胸に当てて引き上げる		9班の案を参考にして、目玉が飛び出る表現を
	± , 241/	非常に驚くこと。驚駭(きょうがい)。	北信越	保	びっくりする様子	^	採用した。
7	きょうがく 驚愕	(例:「市中を驚愕させた事件」 など)	東海	•	驚く + オーバー	△ ラベルの追加	⇒<驚くD(ぴっくり)・たまげた>と同じ
	7.013	(goo国語辞書ほか)	近畿	0	「驚く」+ 目が飛び出る様子		※北信越班・中国班の案を採用
			中国	• /n	目+出る		
			四国	保マ	飛び上がるほどびっくりする様子 高く表現する		
			九州	アア	非利き手でC+利き手でパンチ 左手掌の下に前へ出す		
			東北	•	「地下」+「車」の表現		
		自動車道や線路などが平面に		ļ -	・地下] + ・単」の表現 掌下向きの左手の下を、指先前、掌下向きで伸		9班の案を見ると、左手の下に右手をくぐらせる
		交わってしまうことのないよう、 高架橋や地下道を設置するこ	関東	0	ばした右手をくぐらせる		表現が多かったが、手の形やくぐらせ方には差が見られた。アンダーパスを通るのは車だけで
	アンダーパ	とで立体化された場所のことを	北信越	0	地下に道があるイメージ	_	はない。人や2輪車にも使える表現かつ、くぐる前の下り坂とくぐった後の上り坂をきちんと表す
8		立体交差といい、このとき設置 される地下道のことをアンダー	東海	0	手形で地下から上に	◎ 新規	手話を考えた。
	^{ちかどう} ス(地下道)	パスという。路面から下に掘り	近畿	0	片手の下にもう一方の手で車が下にもぐる様子	47 I 79 E	→両手掌を下に向け、左手の下を右手をぐら
	~ _ /	下げ、交差する相手方の道路 の下を通る格好となる。(グー	中国	0	橋 + 出る		せで前方で指先を上げる
		ネット)	四国	ア	/地下道/のアレンジ 上に上がる様子を加える		※東海班・中国班・九州班の案を採用
			九州	ア	非利き手の掌を下に向け、利き手で車が進むを		
			льлп		表現		

				北海道	ア	「再び」		
		① 焼けたり、壊れたりした建造物を建	-	東北	•	「戻る」+「建てる」の表現		
		と。(例:「倒壊した家屋を再建する」 ② 衰えたり、うまくいかなくなったりした	」など)	関東	Δ	「復活、復興」		<また>+<建つ>、つけ合わせた両拳を立てる<復帰・復旧>の表現も見られたが、協議
		団体などをあらためて組織しなおすこ	こと。	北信越	保	戻る		の結果、右拳を弧を描いて左拳にのせる<復 活・復興>を選択した。
9	再建	(例・「落ち目の政党を再建する」など) ③ 負傷、手術などで失った部分をシ!	/リコンな _	東海	0	又+もちなおす	△ ラベルの追加	⇒<復活・復興・生き返る・返り咲く・創立>と
		どの人工素材を使ったり、自身の体の 移植したりして元のように形作ること。		近畿	ア	つぶす + やり直し		同じ
		「再建術」など) (goo国語辞書ほか)		中国四国	<u>△</u>	戻る /再び/建てる/		※関東班・北信越班の案を採用
		(900 1111 11044)		九州	÷	ひめる+復旧		
				北海道	•	「本当」+「価値」		9班の報告では「価値」としているが、表現はさ
				東北	•	「本当」+「評価」の表現		まざまであった。標準手話の<価値B>を正しく
		本当の値うち。物や人のもつ		関東	•	「本当」+「価値」		表す必要がある。 両手2指の輪を左右に置き、交互に上下する… <値段>
10	しんか	真の価値や能力。	:	北信越	•	本当/価値	•	右手2指の輪を目の脇で上下させる…<評価
10	真価	(例:「真価が問われる」「真価を発揮する」など)		東海近畿	© •	本当 + 価値	組み合わせ	~ <価値B>…顔の横に水平に置いた右手2指 の輪を回し上げて立てる
		(goo国語辞書ほか)		中国	Δ	価値		
				四国	•	/真実/価値/		⇒<本当>+<価値B> ※北信越班・近畿班の案を採用
				九州	•	本当+力+表現		※礼旧越近* 江転近の朱を休用
			-	北海道	•	「作る」+「一緒」		
				東北	•	「共」+「創る」の表現		
		異なる立場や業種の人・団体 ない語	語ですが、	関東 北信越	•	「一緒、共に」+「作る」 共に/作る		9班の案がほぼ同じであり、そのまま採用とし た。
11	_{きょうそう} 共 創	ビスや価値観などをつくり出す 学科σ	の字部や の名称でも	東海	0	共+作る	● 組み合わせ	⇒<一緒>+<工作A・作る>
	大利	(goo国語辞書) 語が使	X42401CU	近畿	•	「一緒」+「作る」	組み日わせ	※東北班·関東班·北信越班·東海班·四国
		ていま	ます。	中国	0	両方 + 作る		班・九州班の案を採用
				四国	•	/一緒/つくる/		
				九州	•	一緒+作る ①右手親指と小指を立てて左右回す ②右手2		
			-	北海道	ア	指を立てて左右動く		
		① 二つでひと揃いとなるもの。二人まで一組になっているもの。また、夫婦・	# 1 +>	東北関東	保	「人差し指」+「中指」の表現 左手2指を立てて右手で包み込み上に抜く。		9班の案がほぼ同じであり、そのまま採用とし
		どの一組。一対。 (例:「カップをペアで買う」「ペアルック	H 125 125	北信越	保	A:両方一緒 B:(恋人夫婦など)男女ふるふる	/ -	t.
12	ペア	② テニス・バドミントン・卓球などで、タ のゲームの組のこと。	ダブルス	東海			保存手話	⇒甲を前に向けて伸ばした左手2指を右手で 握って斜めに抜き上げる(<共同運航>の①)
		③ 漕艇(そうてい)で、二人こぎボート	トのこと。	東 御	ア	2本指を合わせる 片手で二本を作り、もう一方の手でまとめる		※関東班・北信越班①・東海班・近畿班・中国
		また、そのレース。 ④「ペアスケーティング」の略。(goo国		中国	保	ペア		班・四国班・九州班の案を採用
		ほか)		四国	保	左手2本の指を右手で握って上にあげる		
				九州	保	ペア(非利き手を2+利き手でまとめる)		
		「陶器」…土や粉末状の鉱物	:	北海道	ア	「茶碗」の形		
		を練って成形し、素焼きした 後、釉薬(ゆうやく)をかけて		東北	•	「磁石」+「鍋」の表現		9班の案の中にある、福井県在住のろう職人が 使っている表現を採用することに。
		1230	P四百合* 体员	関東	0	掌右向きに立てた左手の掌を右手掌でこすり上 げ5指を小刻みに揺らす。+「鍋」	<瀬戸物>	※<石A>は漢字を表す。右手拳をあてる班も
		うかて芸品に分類されるものかプー66		北信越	•	石/皿(福井のろう職人が実際に表現している)	ラベルの追加	あるが『学習辞典 I』P514 に合わせた表現とする。
13	びき 磁器	「豫明」 ナカ原料はアズ 軸 器」「磁		東海	0	石 + 陶器	<磁器>	<瀬戸物>
	HAPTIF	薬をかけて1300度以上の高温 るか?	現をどうす ? 改めて してくださ	近畿	0	「陶芸」の表現で薄くあげる様子	● 組み合わせ	→<陶器・瀬戸>と同じ
		素地のガラス質が磁化して半透明となり吸水性がなく、弾く	UCC/Ce _	中国	•	石 + 皿		< 磁器> ⇒<石A>(漢字)+<陶器・瀬戸>
		と金属的な清音がするのが特		四国	ア	/指文字ジ/器 陶器の/とう/も指文字		※北信越班・中国班の案を採用
		徴です。家庭用の食器として よく使われています。		九州	•	石十皿		
				北海道	•	「定める」+「税」+「減る」		
				東北	•	「下がる」+「税」の表現		9班の案を参考に、3動作の表現とした。「減る」
		2024年6月より1年間実施される、4万円(所得税3万円+個		関東	•	「定」+「税」+「割引」+「収入」(お金が入る)	<減るB>	という意味で使われている手話表現のラベルが 無かったため、<減るB>をラベル追加した。
	~1\12/1E/-P	人住民税1万円)を減税する経済施策。近年の物価上昇によ	;	北信越	•	定/減る/税	△ ラベルの追加	<減るB>
14	ていがくげんぜい 定額減税	る国民の負担を軽減するため、政府は税収の一部を国民		東海	0	定 + 税 + 下げる	<定額減税>	⇒<基づく・ならう>と同じ (<法の下に平等>の②の表現)
		に還元する制度として「定額減 税」を2024年6月より1年間実	-	近畿	0	「定期」+「減らす」+「税」	(足額減抗)●組み合わせ	<定額減税> ⇒<必ずA・約束・予約・必須・必修・定める>
		施することを決定した。		中国	•	定 + 減 + 税	Mエップロ4ブビ	+<基づく・ならう・減るB>+<税金> ※北信越班・九州班の案を採用
				四国 九州	•	/決まった/お金/下に下げる(減)/税 定+下がる+税		
						①左手親指に口に当てた右手2指を引っ張る		
			:	北海道	•	②両手親指を立て上へ左右から向き合わせる		O班の安た糸老に 両类も雪も ユン バデュコロ
		① 食いついてぶら下がる。食いついて離れないでいる。		東北	•	「会う」を近づけながら前に出す		9班の案を参考に、両拳を震わせふんばる表現 と、 両手の人差指をつけて「ついていく」様子
		②強い相手に粘り強く立ち向かい、どこまでも争う。粘り強く		関東	0	左手人差指を立て手前に右手「ヌ」を水平に置き、同時に手前に動かす。	<食い下がるA> 保	の表現のA・Bを作ることにした。
1-	くいさがる	追及する。		北信越		開き直る様子(「負けたくない」表情を付ける)	保存手話	<食い下がるA> →甲を前に向けた両手拳を両脇で踏ん張るよ
15	食い下がる	(例:「納得するまで質問して食い下がる」など)		東海	保	(わがまま似ている)	<食い下がるB>	うに 震わせる ※東海班の案を採用
		③ 相撲で、相手の胸に頭をつけて前褌(まえみつ)を引き、		近畿	0	人差し指をもう一方の人差し指で追って離れな い様子	保 保存手話	<食い下がるB> ⇒左手人差指の後ろに右手人差指をつけて
		腰を低くして組む。 (goo国 語辞書)		中国	0	男 + 捕まる		ラ左手人差指の使うに右手人差指をつけて 左右に少し揺らしながら進める ※近畿班の案を採用
				四国	0	左親指を立て、右手でそこに食らいつく様子 表情重視		
				九州	•	ふられる+ついていく		

				-II-Mr '- '-		[H: [FB H]		
				北海道 東北	-	「体」+「限界」		
				関東	•			
	7 124 4 4	体力の限界を越える。健康を			•	「体」+「最高(限界)」 身体/パー		9班の案を見て、<身体><ぱあ>か<身体 ><限界>で意見が分かれた。使いやすいと
	みがもたない	維持できない。		北信越東海		関界 + お手上げ	•	いうことでくぱあ>を使った表現を選んだ。
16	24.1. 44.2 0.	(例:「こう徹夜続きでは身が持たない」など)		東御 近畿	0		組み合わせ	⇒<体・身体>+<ぱあ>(両手)
	V \	(goo国語辞書)		中国	•	身+ぱあー		※北信越班·近畿班·中国班の案を採用
						本		WHILIPEST YEARS HOW WENT !
				四国	保	と表現する		
				九州	•	身体+パー(利き手)		
				北海道	•	「心」+「変わる」		
		あることを境目にして、がらっと		東北	•	両手で「変わる」の表現		
		心の持ちようが変わること。「心		関東	•	「気持」+「変わる」		9班の案のうち、気持ちがパッと変わる様子の表
	1 (= 1) - 7 (機」は、心の働きや動きの意味。		北信越	•	気持ち/変化	•	現が良い、ということで採用した。
17	しんきいってん 心機一転	「一転」は、がらっと変わるこ	中国班より。	東海	•	心 + 切り替える	組み合わせ	⇒<心B>(左胸に小さく丸を描く)+<どんで ん返し>(手のひらくっつける)
		と。 (スピーチに役立つ四字熟語		近畿	0	「心」+ パッ変わる様子		※北信越班・東海班・近畿班の案を採用
		辞典)		中国	•	決意 + 変わる		次化旧圏近、米何姫、紅脳虹の米を採用
				四国	•	/新しい/変わる		
				九州	•	心+変える(両手)		
				北海道	•	「一筋」+「心」		
		他に心を向けないで、一つの		東北	•	両手で「夢中」の表現		
		ことに気持ちを集中させること。		関東	0	掌を耳に向けて立てた両手を近づけながら前に 出す。		四字熟語なので「一」の表現がほしいという意見
	いちいせんしん	「一意」は、ひたすら一つのこ とに心を用いること。	中国班より。	北信越	•	視野が狭い/ひとすじ		があり、数字の<一>の表現を取り入れた。
18	一意專心	「専心」は、心をそのことに注	※若乃花が大 関の伝達式で	東海	•	「一」+ 集中	組み合わせ	⇒<ー>を少し右に引く+<一生懸命・健気 (前へ真っすぐ出す)
	72. 1, 2	いで熱心に行うことで、専念と同義。	使用。	近畿	•	「集中」+「熱心」		
		(スピーチに役立つ四字熟語		中国	•	集中 + まっずく		※東北班・東海班・九州班の案を参考
		辞典)		四国	•	/一つ/集中する/		
				九州	•	まっすぐ+一生懸命		
				北海道	●・@	②「自分」+「頑張る」 ②「自分」+北海道の手 話使う「頑張る」		
		曲けのおい担託で 小粉の吐		東北	•	「自分」+「頑張る」の表現		
		助けのない場所で、少数の味 方だけで死力を尽くして戦うこ		関東	•	「自分」+「踏ん張る、穴をまくる」		一人で頑張ることを強調したいとの意見から、<
		と。援助なしで1人で努力する こと。「孤軍」は、援軍がない孤		北信越	•	孤独/努力		独身・一人ぼっち>を使うことにした。
19	こぐんふんとう 孤軍奮闘	立した軍隊。「奮闘」は、勇気	中国班より。	東海	•	孤独 + 人差し指 + 手のひらで戦う	● 組み合わせ	⇒<独身・一人ぼっち>+<一生懸命・健気
	阿里中似	をふるって敵と戦うことの意 味。		近畿	0	「孤立」+「頑張る」	//II-/ [] 42 C	>(前へ真っすぐ出す)
		(スピーチに役立つ四字熟語辞典)		中国	•	孤独 + 集中		※中国班の案を採用
		奸典)		四国	ア	/自分自身/頑張って動くようす 表情が大事		
				九州		申し訳ありません		
				北海道	•	「自分」+「超える」+「復活」+「常識」		
		+ > - 7/2 + - 1		東北	•	「マナー」+「尊敬」の表現		
		自らの強い意志で、欲望や邪				「自分」指した右手を左手で右側に押しやる+		耐える表現を入れたほうがよいだろうということ
		心を抑えて礼儀を正しくするこ		関東		「一つか」」は、一つから、「一つか」		でく我慢>+<常識>の組み合わせ表現とした。
20		心を抑えて礼儀を正しくすること。『論語(ろんご)』でいう仁の			•	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」		
	こっきふくれい 古コ 佐り	と。『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に克(か)ち礼	中国班より。	北信越	_	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ	● 細り合わせ	た。 ⇒<我慢・辛抱>+<常識・モラル・マナー・
	こっきふくれい 克己復礼	と。『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に 克 (か)ち 礼 (れい)に 復 (かえ)る(を復	中国班より。	北信越東海	•	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー	● 組み合わせ	た。 ⇒<我慢・辛抱>+<常識・モラル・マナー・ エチ
	こっきふくれい 克己復礼	と。『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に克(か)ちれ (れい)に復(かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語	中国班より。	北信越	_	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ	● 組み合わせ	た。 ⇒<我慢・辛抱>+<常識・モラル・マナー・ エチ ケット・道徳・信義>
	こっきぶくれい 克己復礼	と。『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に克(か)ち礼 (れい)に復(かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。	中国班より。	北信越東海近畿	•	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」	● 組み合わせ	た。 ⇒<我慢・辛抱>+<常識・モラル・マナー・ エチ
	こっきふくれい 克己復礼	と。『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に克(か)ちれ (れい)に復(かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語	中国班より。	北信越東海近畿中国	•	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく	組み合わせ	た。 ⇒<我慢・辛抱>+<常識・モラル・マナー・ エチ ケット・道徳・信義>
	こっきふくれい 克己復礼	と。『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に克(か)ちれ (れい)に復(かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語	中国班より。	北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	•	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません の「大切」+ 手の甲を指さし	組み合わせ	た。 ⇒<我慢・辛抱>+<常識・モラル・マナー・ エチ ケット・道徳・信義>
	こっきぶくれい 克己復礼	と。『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に克(か)ちれ (れい)に復(かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語	中国班より。	北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道	• • •	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ②「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す	組み合わせ	た。 ⇒<我慢・辛抱>+<常識・モラル・マナー・ エチ ケット・道徳・信義>
	こっきぶくれい 克己復礼	と。『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に克(か)ち札 (れい)に復(かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語 辞典)	中国班より。	北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道	• • • · · · · · · · · · · · · · · · · ·	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て+大体	組み合わせ	た。 ⇒<我慢・辛抱>+<常識・モラル・マナー・ エチ ケット・道徳・信義>
	こっきぶくれい 克己復礼	と『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に克(か)ち札 (れい)に復(かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語 辞典) ① 大切なところ。大事な点。 ② 大体のところ。あらまし。概	中国班より。	北信越東海近畿中国四国九州北海道東北関東	• • • · · · · · · · · · · · · · · · · ·	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て+大体 大切/前を指差す	組み合わせ	た。 ⇒<我慢・辛抱>+<常識・モラル・マナー・ エチ ケット・道徳・信義> ※東海班の案を参考
21	たいよう	と『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に 克 (か)ち札 (れい)に 復 (かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語 辞典) ① 大切なところ。大事な点。 ② 大体のところ。あらまし。概 要。	中国班より。	北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東北 関東	• • • • • • • • • • • • • •	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て+大体 大切/前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ	•	た。 →<我慢・辛抱>+<常職・モラル・マナー・エチ ケット・道徳・信義> ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、<ほとんど>の表現が必要。 →<ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよ
21		と『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に克(か)ち札 (れい)に復(かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語辞典) ① 大切なところ。大事な点。 ② 大体のところ。あらまし。概要。 (例:「法案の大要について説明する)「首相発言は大要左	中国班より。	北信越 東海 近畿 中国 九州 北海道 東北 関東 北信越	• • • · · · · · · · · · · · · · · · · ·	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て十大体 大切/前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ 「だいたい・おおまか」→「大事」	● 組み合わせ 組み合わせ	た。 ⇒<我慢・辛抱>+<常識・モラル・マナー・エチ ケット・道徳・信義> ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、<ほとんど>の表現が必要。
21	たいよう	と 『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に克(か)ち礼 (れい)に復(かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語 辞典) ① 大切なところ。大事な点。 ② 大体のところ。あらまし。概 要。 (例:「法案の大要について説	中国班より。	北信越東海近畿中国 四国九州北海道東北 関東北信越東北信越東北。	• • • · · · · · · · · · · · · · · · · ·	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て十大体 大切/前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ 「だいたい・おおまか」→「大事」	•	た。 → 〈我慢・辛抱〉 + 〈常職・モラル・マナー・エチ ケット・道徳・信義〉 ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、〈ほとんど〉の表現が必要。 → 〈ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよそ・ほぼ・十中八九〉 + 〈大切A〉 (甲をなでる)
21	たいよう	と『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に 克 (か)ち 札 (れい)に 復 (かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語 辞典) ① 大切なところ。大事な点。 ② 大体のところ。あらまし。概 要。 (例:「法案の大要について説明する」「首相発言は大要左 のとおりである」など) (goo国	中国班より。	北信越東海 近畿 中国 九州 北海道 東北 関東 北信 東 北信 東 近 東 近 東 近 義 中国		「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て十大体 大切/前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ 「だいたい・おおまか」→「大事」 大事 + ポイント ①大事 ②ほとんど	•	た。 →<我慢・辛抱>+<常職・モラル・マナー・エチ ケット・道徳・信義> ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、<ほとんど>の表現が必要。 →<ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよ
21	たいよう	と『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に 克 (か)ち 札 (れい)に 復 (かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語 辞典) ① 大切なところ。大事な点。 ② 大体のところ。あらまし。概 要。 (例:「法案の大要について説明する」「首相発言は大要左 のとおりである」など) (goo国	中国班より。	北信越東海 近畿 中国国 九州 北海道 東北 開東 北信越東北 開東 北信越東近島 東海 畿 中国国		「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て+大体 大切 / 前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ 「だいたい・おおまか」→「大事」 大事 + ポイント ①大事 ②ほとんど /大切/	•	た。 → 〈我慢・辛抱〉 + 〈常職・モラル・マナー・エチ ケット・道徳・信義〉 ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、〈ほとんど〉の表現が必要。 → 〈ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよそ・ほぼ・十中八九〉 + 〈大切A〉 (甲をなでる)
21	たいよう	と『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に 克 (か)ち 札 (れい)に 復 (かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語 辞典) ① 大切なところ。大事な点。 ② 大体のところ。あらまし。概 要。 (例:「法案の大要について説明する」「首相発言は大要左 のとおりである」など) (goo国	中国班より。	北信越東海 近畿 中国国九州 北海道 東東 北信越東北 関東 北信越東 北信越東海 近島 中国国九州	●●ア●△△△△保	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく	•	た。 → 〈我慢・辛抱〉 + 〈常職・モラル・マナー・エチ ケット・道徳・信義〉 ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、〈ほとんど〉の表現が必要。 → 〈ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよそ・ほぼ・十中八九〉 + 〈大切A〉 (甲をなでる)
21	たいよう	と。『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「已(おのれ)に克(か)ち礼 (れい)に復(かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語 辞典) ① 大切なところ。大事な点。 ② 大体のところ。あらまし。概 要。 (例:「法案の大要について説明する」「首相発言は大要左 のとおりである」など) (goo国 語辞書)		北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東北 関東 北信越 東海 世国 四五 九州 東北 日本 東北 日本 東海 北州 北海道 東北 日本 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田	●F●△△△へへ欠ア	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく	•	た。 → 〈我慢・辛抱〉 + 〈常職・モラル・マナー・エチ ケット・道徳・信義〉 ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、〈ほとんど〉の 表現が必要。 → 〈ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよ そ・ほぼ・十中八九〉 + 〈大切A〉 (甲をなでる) ※東北班の案を採用
21	たいよう	と『論語(ろんご)』でいう仁の 精神。 「己(おのれ)に克(か)ち札 (れい)に復(かえ)る(を復 (ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語 辞典) ① 大切なところ。大事な点。 ② 大体のところ。あらまし。概要。 (例:「法案の大要について説明する」「首相発言は大要左のとおりである」など) (goo国語辞書)	の品や知識、技を指すの	北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東北 開東 北信越 中国 四国 九州 北海道 東北 日本 中国 東北 北海道 東海 北州 東北 日本 中国 東京 北京 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田 大田	●●F●△△△△保ア●○	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て+大体 大切/前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ 「だいたい・おおまか」→「大事」 大事 + ポイント ①大事 ②ほとんど / 大切/ 「準備」 両掌を向き合わせたまま、右へ移す	•	た。 → < 我慢・辛抱> + < 常籤・モラル・マナー・エチ・ケット・道徳・信義> ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、< ほとんど>の表現が必要。 → <ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよそ・ほぼ・+ 中八九> + < 大切A> (甲をなでる) ※東北班の案を採用 9班の案はだいたい同じ表現だが、少しずつ異
21	たいよう	と。『論語(ろんご)』でいう仁の精神。 「已(おのれ)に克(か)ち札(れい)に復(かえ)る(を復(ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語辞典) ① 大切なところ。大事な点。② 大体のところ。あらまし。概要。 (例:「法案の大要について説明する」「首相発言は大要左のとおりである」など) (gool国語辞書) 備える(そなえる)とは、必要な精かなどを予め用意しておく行為生活においては、食料や生活。	あ品や知識、技 を指す。 と需品をストック	北信越 東海 近畿 中国 九州 北海道 東北 関東北 東北 東近畿 中国 九州 北海道 東北 東北 東北 東北 東北 東北 東近 東北 東北 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近	● ● ア ● △ △ △ △ 保 ア ◎ 保	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て+大体 大切/前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ 「だいたい・おおまか」→「大事」 大事 + ポイント ①大事 ②ほとんど /大切/ 大切/ 両掌を向き合わせたまま、右へ移す 用意(する)、準備(する)	•	た。 ⇒ < 我慢・辛抱> + < 常識・モラル・マナー・ エチー ケット・道徳・信義> ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、<ほとんど>の 表現が必要。 ⇒ < ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよ そ・ほぼ・十中八九> + < 大切A> (甲をなで る) ※東北班の案を採用 9班の案はだいたい同じ表現だが、少しずつ異なる。標準手話の動作を確認し、< 準備>を採用することに。
	たいよう 大要	と『論語(ろんご)』でいう仁の精神。 「已(おのれ)に克(か)ちれ(れい)に復(かえ)る(を復(ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語辞典) ① 大切なところ。大事な点。 ② 大体のところ。あらまし。概要。 (例:「法案の大要について説明する」「首相発言は大要左のとおりである」など) (goo国語辞書) 備える(そなえる)とは、必要な場がなどを予め用意しておく行為生活においては、食料や生活・すること、災害時に備えて非常となどが該当する。	あ品や知識、技 を指す。と需品をバック 用品を揃えるこ	北信越 東海 近畿 中国 九州 北海道 東北 関居 北海道 東北 関西 九州 北海道 東北 関西 北海道 東北 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近 東近	●F○△△△(R(R(R	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て十大体 大切/前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ 「だいたい・おおまか」→「大事」 大事 + ポイント ①大事 ②ほとんど /大切/ 大切 「準備」 両掌を向き合わせたまま、右へ移す 用意(する)、準備(する) 「想像」+「準備」	● 組み合わせ △	た。 ⇒<我慢・辛抱>+<常識・モラル・マナー・エチ ケット・道徳・信義> ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、<ほとんど>の表現が必要。 ⇒<ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよそ・ほぼ・十中八九>+<大切A>(甲をなでる) ※東北班の案を採用 9班の案はだいたい同じ表現だが、少しずつ異なる。標準手話の動作を確認し、<準備>を採
21	たいよう	と、『論語(ろんご)』でいう仁の精神。 「已(おのれ)に克(か)ち札(れい)に復(かえ)る(を復(ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語辞典) ① 大切なところ。大事な点。② 大体のところ。あらまし。概要。 (例:「法案の大要について説明する」「首相発言は大要左のとおりである」など) (goo国語辞書) 備える(そなえる)とは、必要な精などを予め用意しておく行為よさどを予め用意しておく行為生活においては、食料や生活すること、災害時に備えて非常となどが該当する。また、ビジネスの場面では、必要ななが該当する。また、ビジネスの場面では、必要ないる。	勿品や知識、技 を指す。とます。でストック用品を揃えるこ要なスキルや知	北信越 東海 近畿 中国国 九州 北海道 東北 関居越 東近 国 五 九州 北海道 東北 東北 東 五 田 国 五 大 五 五 七 五 五 五 五 七 五 五 五 七 五 五 五 七 五 五 七 五 五 七 五 末 五 末	●F○△△△△(R(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)<l< td=""><td>「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て十大体 大切/前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ 「だいたい・おおまか」→「大事」 大事 + ポイント ①大事 ②ほとんど /大切/ 大切 「準備」 両掌を向き合わせたまま、右へ移す 用意(する)、準備(する) 「想像」+「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」</td><td>● 組み合わせ</td><td>た。 ⇒ < 我慢・辛抱> + < 常職・モラル・マナー・ エチ ケット・道徳・信義> ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、<ほとんど>の 表現が必要。 ⇒ < ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよ そ・ほぼ・十中八九> + < 大切A> (甲をなでる) ※東北班の案を採用 9班の案はだいたい同じ表現だが、少しずつ異なる。標準手話の動作を確認し、< 準備>を採用することに。 (準備(わ4-191)>…真っすぐ右へ < 用意・調達(わ3-196)>…弧を描いて移す</td></l<>	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て十大体 大切/前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ 「だいたい・おおまか」→「大事」 大事 + ポイント ①大事 ②ほとんど /大切/ 大切 「準備」 両掌を向き合わせたまま、右へ移す 用意(する)、準備(する) 「想像」+「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」	● 組み合わせ	た。 ⇒ < 我慢・辛抱> + < 常職・モラル・マナー・ エチ ケット・道徳・信義> ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、<ほとんど>の 表現が必要。 ⇒ < ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよ そ・ほぼ・十中八九> + < 大切A> (甲をなでる) ※東北班の案を採用 9班の案はだいたい同じ表現だが、少しずつ異なる。標準手話の動作を確認し、< 準備>を採用することに。 (準備(わ4-191)>…真っすぐ右へ < 用意・調達(わ3-196)>…弧を描いて移す
	たいよう 大要	と『論語(ろんご)』でいう仁の精神。 「已(おのれ)に克(か)ち札(れい)に復(かえ)る(を復(ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語辞典) ① 大切なところ。大事な点。② 大体のところ。あらまし。概要。 ② 大体のところ。あらまし。概要。 (例:「法案の大要について説明する」「首相発言は大要左のとおりである」など)(goo国語辞書) 備える(そなえる)とは、必要な術などを予め用意しておく行為生活においては、食料や生活よっなこと、災害時に備えて非常となどが該当する。 また、ビジネスの場面では、必ら、対策を立てておくこと、「備える	物品や知識、技を指品を指示。ストック用品を抽点を加速である。 からない かいして かいして アンスクに対して カリスクに対して	北信越東 遊 東 国国 九 北 東 東 選 東 軍 銀 東 東 軍 東 軍 東 軍 東 東 軍 東 東 東 東 東 東 東	● ● ○ F ● ○ △ △ ← F ● ○ △ △ ← F ● ○ △ △ F F ● ○ △ △ F F ● ○ △ ○ F F ● ○ ○ △ F F ● ○ ○ ○ ○ F F ● ○ ○ ○ ○ F F ● ○ ○ ○ ○	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ②「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て+大体 大切/前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ 「だいたい・おおまか」→「大事」 大事 + ポイント ②大事 ②ほとんど /大切/ 大切 「準備」 両掌を向き合わせたまま、右へ移す 用意(する)、準備(する) 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」	● 組み合わせ △	た。 → < 我慢・辛抱> + < 常識・モラル・マナー・エチ・ケット・道徳・信義> ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、<ほとんど>の表現が必要。 → < ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよそ・ほぼ・十中八九> + < 大切A> (甲をなでる) ※東北班の案を採用 9班の案はだいたい同じ表現だが、少しずつ異なる。標準手話の動作を確認し、< 準備>を採用することに。 < 準備(わ4-191)>…真っすぐ右へ < 用意・調達(わ3-196)>…弧を描いて移す → < 準備>と同じ(真っすぐ右へ)
	たいよう 大要	と、『論語(ろんご)』でいう仁の精神。 「已(おのれ)に克(か)ち札(れい)に復(かえ)る(を復(ふ)む)」と読み下す。 (スピーチに役立つ四字熟語辞典) ① 大切なところ。大事な点。② 大体のところ。あらまし。概要。 (例:「法案の大要について説明する」「首相発言は大要左のとおりである」など) (goo国語辞書) 備える(そなえる)とは、必要な術などを予め用意しておく行為生活においては、食料や生活。すること、災害時に備えて非常となどが該当する。また、ビジネスの場面では、必り識を身につけておくこと、将来を見ていけておくこと、将来を見ていけておくこと、将来の場面では、必り識を身につけておくこと、将来の場面では、必り調査を身につけておくこと、将来の場面では、必り調査を身につけておくこと、将来の場面では、必り調査を身につけておくこと、将来の場面では、必り調査を身につけておくこと、将来の場面では、必り調査を身につけておくこと、将来の場面では、必り調査を身につけておくこと、将来の場面では、必り調査を身につけておくこと、将来のように表している。	物品や知識、技を指品を指示。ストック用品を抽点を加速である。 からない かいして かいして アンスクに対して カリスクに対して	北信越 東海 近畿 中国国 九州 北海道 東北 関居越 東近 国 五 九州 北海道 東北 東北 東 五 田 国 五 大 五 五 七 五 五 五 五 七 五 五 五 七 五 五 五 七 五 五 七 五 五 七 五 末 五 末	●F○△△△△(R(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)(C)<l< td=""><td>「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て十大体 大切/前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ 「だいたい・おおまか」→「大事」 大事 + ポイント ①大事 ②ほとんど /大切/ 大切 「準備」 両掌を向き合わせたまま、右へ移す 用意(する)、準備(する) 「想像」+「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」</td><td>● 組み合わせ △</td><td>た。 ⇒ < 我慢・辛抱> + < 常畿・モラル・マナー・エチケット・道徳・信義> ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、<ほとんど>の表現が必要。 ⇒ < ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよそ・ほぼ・十中八九> + < 大切A> (甲をなでる) ※東北班の案を採用 9班の案はだいたい同じ表現だが、少しずつ異なる。標準手話の動作を確認し、< 準備>を採用することに、< 準備(わ4-191)>…真っすぐ右へ< < 用意・調達(わ3-196)>…弧を描いて移す</td></l<>	「マナー」+ 左掌の上で「真っ直ぐ」 マナー/ひとすじ 自分おさえる + マナー 「真面目」+「道徳」 礼儀 + まっずく / 意志/常識/まっすぐ 申し訳ありません ①「大切」+ 手の甲を指さし ②「大切」+ 手の下を人差し指を回す 全て十大体 大切/前を指差す A 大切 B おおまか + まとめ 「だいたい・おおまか」→「大事」 大事 + ポイント ①大事 ②ほとんど /大切/ 大切 「準備」 両掌を向き合わせたまま、右へ移す 用意(する)、準備(する) 「想像」+「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」 「準備」	● 組み合わせ △	た。 ⇒ < 我慢・辛抱> + < 常畿・モラル・マナー・エチケット・道徳・信義> ※東海班の案を参考 「だいたい大事」の意味なので、<ほとんど>の表現が必要。 ⇒ < ほとんど・大体・大部分・おおむね・おおよそ・ほぼ・十中八九> + < 大切A> (甲をなでる) ※東北班の案を採用 9班の案はだいたい同じ表現だが、少しずつ異なる。標準手話の動作を確認し、< 準備>を採用することに、< 準備(わ4-191)>…真っすぐ右へ< < 用意・調達(わ3-196)>…弧を描いて移す

			北海道 ● 右手人差し指立て、左手人差し指右へ移動 + 「言語」		
			東北 ● 小指を立て左右へ引き離す + 語		9班の案を見ると、<単語>を使う班と<語> (または<言語>)と使う班に分かれている。こ
			関東 ● 似ている / 右手だけで「単語」	<似ているB>	の場合は、「似ている単語」の意味。また、標準 手話く似ている>を確認。 く似ている>…2指を立て、前後に重ね合わせ
		新形は思わっているが、辛吐	北信越 ○ 「似ている」+「単語」	保 保存手話	た両手を左右へ引き離す 9班の案に多く見られる表現を「B」とすること
23	るいぎご 米子 学 赤	語形は異なっているが、意味 の似かよっている二つ以上の 語。「家」と「住宅」、「言う」と	東海 ● 「似ている」→「語(句)」	<類義語A>	に。 <似ているB> ⇒<似ている>の小指を重ね右手だけをやや
	類義語	「話す」などの類。 (goo国語辞書)	近畿 ● 似る + 語	組み合わせ	右斜め前に動かす(2回繰り返してもOK) <類義語A>
			中国 ● 似てる + 単語	<類義語B> ● 組み合わせ	⇒<似ている>+左手残して、右手<単語>
				,	<類義語B> ⇒<似ているB>+左手残して、右手<単語 >
					※関東班・東海班・九州班の案を採用
			九州 ア 似ている + 言葉 北海道 ● 「種類」+「似ている」		
			東北 ② 小指を立て左右へ引き離す		9班に倣い、本委員も「似る」と同じ表現でよいと
		互いに共通点があること。似か	関東 ● 似ている / 通じる 北信越 △ 似ている	<類似A> △	意見が一致した。
24	るいじ 類似	ようこと。 (例:「筆法が類似している」	東海 △ 「似ている」にラベル追加	ラベルの追加	<類似A> ⇒<似ている>と同じ
	知以	「類似品」など) (goo国語辞書)	近畿 ア 両手の小指を約束のように重ね合わせる	<類似B> △	<類似B> ⇒<似ているB>と同じ
			中国 △ 似てる 四国 △ /似ている/	ラベルの追加	※北信越班・東海班の案を採用
			九州 ア コピー + 似ている		
			北海道 ● 腕を立てた肘に右手で指さし+ 指さしをしたと ころを + 「取る」		
			東北 © 鼻先をかすめるように右手を左方へ振り下ろす + 消える		「すべて+つぶす」か「根を切る」かで表現案が 分かれた。「すべて+つぶす」はわかりやすい
		西海などた担 セムミ (毎度の)に	関東 ◎ 腕を立てた左肘の下で鉄(切る)/潰す		が、意味や状況が幅広くなってしまう。標準手話、一つの言葉としては「根を切る」表現が合っ
25	こんぜつ 根絶	悪弊などを根本から徹底的に 絶やすこと。ねだやし。 (例: 「暴力団を根絶する」など)	北信越 ア 「基」+ 取って捨てる仕草 東海 ◎ 「根・基本」の根の部分をなくす表現	○ 合成	ているので、創作手話を考えることにした。
	化风水巴	(goo国語辞書)	近畿ア「根」の元を切るしぐさ	D //X	⇒<基づいて・抜本・根本(的)・デフォルト(I T)>の左肘下を右手2指で切る動作
			中国 △ 除く		(<基づいて>と<切る>の合成) ※近畿班①・九州班の案を採用
			四国		水江南 東⊕ 70/11東○宋正休/11
			九州		
			東北 ● 友 + 交流		
			関東 ● 友 / 交流		9班の案を見るとさまざまあったが、よく似た日本語のことばも多い。標準手話を確認したとこ
0.0	ゆうこう	友人としての親しい交わり。 (例:「友好を深める」「友好関	北信越 ②? 左右の手を握手させる(優雅に握手するイメージ)	©	ろ、両手を繋ぐ握手のような表現をこれまで確 定していないことがわかり、創作した。
26	友好	係」「友好国」など) (goo国語辞書)	東海 △ 「仲良し」にラベル追加近畿 ア 「友だち」をぐるっと回す	新規	⇒肘を張り、左手4指の指先を右手ではさみ下 に2回振る(握手)
			中国 △ 友情		※北海道班・北信越班の案を採用
			四国 ア /友達/ を前後に動かす		
			九州 保 友達 北海道 ● 「右手親指で鼻先を2回払う」+「防ぐ」		
			東北 ● 左手「防」+悪い		
		犯罪を未然に防止すること、そ のために講じる手段・対策を指	関東 ・ 不良、悪い / 拒む、拒絶する		
	ぼうはん	しす。犯罪者の目線で自分自身の生活環境・行動・意識を	北信越	•	標準手話の<防災>をヒントにして、<防ぐ>と <悪>の合成手話とした。
27	防犯	チェックし、問題点を把握すると効果的な防犯対策ができる	東海 (組み合わせ	⇒左手<防ぐ>+左手残して、<不良・犯>
		といわれている。 (株式会社アート)	中国 ● 悪 + 防止		※東海班・近畿班・四国班の案を採用
			四国 ● /防ぐ/犯人の犯(親指を立てて鼻をこする)学 1-292		
			九州 ア 罪 + 防ぐ		
		コメの過剰生産を抑え、米価を	北海道 「田」+「間」を横と縦に縮める東北 ● 田んぼ + 減る	<田B>	9班の案を見て、「田んぼを減らす」のか「米を減らす」のか検討をした。「田んぼはあるが、米
		維持するために国がコメの生 産量を調整する制度です。田 んぼの面積を表す単位である	関東	保存手話	を作らない」という制度なので迷ったが、文字通り田んぼを減らす表現とした。 〈田B〉
		「反」を減らすことからこの名前	北信越 〇 「田んぼ」+「省く」	<減らすC>	⇒<田>を寝かせて表す
28	げんたん 減反	が付けられました。(AIによる 概要) ※減反政策は、食生活の変化	東海 ● 「米」→「作る」→「(基準値上より)減らす」	保 保人手話	<減らすC> ⇒指先を前に向けた両手掌を向き合わせ右手
		でコメが余り始めた1960年代 半ばに試験的に実施され、	近畿 ● 「田んぼ」+「減る」	<減反>	を 左手に近づける
		1971年に本格的に導入されま した。2018年に約50年の実施	中国 ● 田 + 半分減らす 四国 ● ア /田ルぼ/減るの手話のアレンジ(片手のみ移動)	● 組み合わせ	<減反> ⇒<田B>+<減らすC>
		を経て廃止された。	四国		※中国班の案を採用
			北海道 ●「物」+「高い」		
			東北 ◎ 両手(お金)を上へすぐ上げる 関東 保 (物価等)あがる、高騰(学 I P306)		「値上がり」をよく表現しているくあがる(物価
	7363	物価などがひどく上がること。	現東	^	が)>へのラベル追加とした。
29	こうとう 高騰	騰貴。 (例:「地価が高騰する」など) (goo国語辞書)	東海 △ (手話学習辞典 P.306記載あり) 近畿 保 値上げの様子	△ ラベルの追加	⇒<あがる(物価が)>と同じ
		(800四四叶首)	五歳 休 恒上100kmナ 中国 △ 高くなる		※東北班・関東班・北信越班・東海班・中国班の案を採用
			四国 ア /値上げ(学1-306)を表情を加え強く表現 九州 保 値上がり(両手)		
			九州 保 値上がり(両手)		

30 水 31 お 32 推 33 で 34 ほうじ	± 11	者。(例:「 ど) (好と。(例に 気。(例に 気。(例に 気。(例に で、) 気に入り (回を レンス[い	寄せるところ。親類・縁 ・身寄りのない老人」な goo国語辞書) こ合うこと。好ましく思うこ た、その人や物。 社長のお気に入り」「お いりの店」など) 国語辞書)		北海道 東北 関東 北信越 東海 近 世 国 国 九州 北海道	ア ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	立てた人差し指を中心にして指を下に向けた右手を回す 両手人差指の間隔をあける 親せき / みんな 両手の人差し指を引き寄せる 「親戚」にラベル追加 親戚 + 友達 親戚 / 視戚/ #和き手の人差し指に利き手の人差し指を近づける	△ ラベルの追加	身寄りと言えば、多くは親戚親類を指すので、 〈親類〉のラベル追加とした。 ⇒〈親類A〉と同じ(両手2指を立てて重ね
31 お気が 23 推し 33 を繋が	± 11	者。(例:「 者。(例:「 がと。(例:「 好と。(例:「 気 goot (例 に) (例 に) (別 に) ()	身寄りのない老人」な goo国語辞書) こ合うこと。好ましく思うこ た、その人や物。 社長のお気に入り」「お 入りの店」など)		関東 北信越東海 近畿 中国 四国 九州 北海道	●	親せき / みんな 両手の人差し指を引き寄せる 「親戚」にラベル追加 親戚 + 友達 親戚 /親戚/ 非利き手の人差し指に利き手の人差し指を近		<親類>のラベル追加とした。
31 お気が 23 推し 33 を繋が	± 11	者。(例:「 者。(例:「 がと。(例:「 好と。(例:「 気 goot (例 に) (例 に) (別 に) ()	身寄りのない老人」な goo国語辞書) こ合うこと。好ましく思うこ た、その人や物。 社長のお気に入り」「お 入りの店」など)		北信越 東海 近畿 中国 四国 九州 北海道	©?	両手の人差し指を引き寄せる 「親戚」にラベル追加 親戚 + 友達 親戚 /親戚/ 非利き手の人差し指に利き手の人差し指を近		<親類>のラベル追加とした。
31 お気が 23 推し 33 で 対 1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (± 11	者。(例:「 者。(例:「 がと。(例:「 好と。(例:「 気 goot (例 に) (例 に) (別 に) ()	身寄りのない老人」な goo国語辞書) こ合うこと。好ましく思うこ た、その人や物。 社長のお気に入り」「お 入りの店」など)		東海 近畿 中国 四国 九州	△ • △	「親戚」にラベル追加 親戚 + 友達 親戚 /親戚/ 非利き手の人差し指に利き手の人差し指を近		
31 お気が 23 推し 33 を繋が	± 11	(例: 「(例: 「(例: 「(の: 「(の: 「(の: 「(の: 「(の: 「(の: 「(の: 「(の	では、好ましく思うこと、好ましく思うこと、その人や物。 社長のお気に入り」「お 入りの店」など)		近畿 中国 四国 九州 北海道	 △ △	親戚 + 友達 親戚 / 親戚/ 非利き手の人差し指に利き手の人差し指を近		→ノ朝編 A \ b 同じ (高手の比をウイア番も
32 推し 33 を 対 バン	気に入り	好みに と。ま (例で 気にう (goot 気に入り 「 気に入り 「アス[い	こ合うこと。好ましく思うこ た、その人や物。 社長のお気に入り」「お 入りの店」など)		中国四国九州北海道	Δ	親戚 /親戚/ 非利き手の人差し指に利き手の人差し指を近		た小指を左右へ引き離す)
32 推し 33 を 対 バン	気に入り	と。ま (例・「 気に力 気に入り 何度も レス[u	た、その人や物。 社長のお気に入り」「お 入りの店」など)		四国 九州 北海道	Δ	/親戚/ 非利き手の人差し指に利き手の人差し指を近		※四国班の案を採用
32 推し 33 * 関 バ	気に入り	と。ま (例・「 気に力 気に入り 何度も レス[u	た、その人や物。 社長のお気に入り」「お 入りの店」など)		九州		非利き手の人差し指に利き手の人差し指を近		XIII WY CIVII
32 推し 33 を 対 バン	気に入り	と。ま (例・「 気に力 気に入り 何度も レス[u	た、その人や物。 社長のお気に入り」「お 入りの店」など)		北海道	ア			
32 推し 33 を 対 バン	気に入り	と。ま (例・「 気に力 気に入り 何度も レス[u	た、その人や物。 社長のお気に入り」「お 入りの店」など)				· -		
32 推し 33 を 対 バン	気に入り	と。ま (例・「 気に力 気に入り 何度も レス[u	た、その人や物。 社長のお気に入り」「お 入りの店」など)		nie die	ア	●「好き」+両手を合わす ②「好き」+人差し 指を胸をつける		
32 推し 33 を 対 バン	気に入り	* (gool (gool (gool (gool (pgt レス[)	社長のお気に入り」「お 人りの店」など)		東北	0	合う		
32 推し 33 を 対 バン	気に入り	意 (gool (gool (gool (gool (gool (gool (pet レス[)	入りの店」など)	1	関東	0	両掌上下に向い合せて「合う」/ 左掌の上で		9班の案を見ると、<好き>、<合う>が多かっ
32 推し 33 を 対 バン	気に入り	気に入り Webフロス[U	g 治 辞 香 / 一				「真っ直ぐ」 A 良い B 星が尾を引いて流れる様子(お気に		た。検討した結果、<好き>にラベル追加する
32 推し 33 閣 バ	X((C)\)	レス[[ブラウザの機能の1つで、		北信越		入りマーク)	△ ラベルの追加	ことに。
33 替が、			」訪れるWebサイトのアド JRL]を記録しておくため	-	東海	Δ	「好き、好み」にラベル追加	ノ・ シャック 戸が	⇒<好き>と同じ
33 替が、		のもの) _o		近畿		A) 好き B)気の合う		※東海班・四国班の案を採用
33 替が、		社.coi	l語辞典 Web制作会 m)	-	中国	保 ^	①岡山の手話 ②山口の手話		
33 替が、					九州	△	/好き/ 表情で表現 好き(2回)		
33 替が、							右手掌に親指を立てた右手をのせ上にあげ、		
33 替が、		深口 元	受着を持っており他の方		北海道	ア	右手2で上にあげる動作		
33 替が、		にもお	3すすめしたいと思う人物		東北	0	左手の立てた人差指の背を右手掌で前に押し 出すようにたたく		
33 替が、		やキャ	と指す表現。特定の人物 プラクターを好きであること		関東	0	立てた左手親指を右掌で2回軽くたたく		以前、<一押し(いちおし)>を確定したが、この言葉はどちらかというと物に対して使う。「推
33 替が、		や、フ	アンであることを表現し		北信越	ア	左手の人差し指を、右手でそっと押し出す	^	し」は、人に対して使うことが多いと思われるため、<勧める>にラベル追加とした。
	し	し 以前に	よ「○○を推す」という動		東海	Δ	「人気」にラベル追加	ラベルの追加	
			ドで使用されていました 上在ではその動詞が名詞		近畿	Δ	ささえる		⇒<勧める>と同じ(上に2回)
		化し、	上述の説明に合わせて いている		中国	Δ	尊敬か王様		※東北班・中国班の案を参考
		(小学			四国	ア	笑顔で人差し指を出し、それを掌で押して前に 出す様子		
					九州	保	援助(下から少し斜め上に)		
					北海道	•	「闇」+「仕事」		
				-	東北	0	隠し + お金をもらう		9班の案を見ると、「闇」を<ダメ>、<秘密B・
					жчь	•	応し、心型でもり)	<闇バイトA>	暗黙>、<罪>、<裏+悪い>などさまざまな 表現が見られた。標準手話を確認すると<闍>
			テ為をすることによって報 そけ取るアルバイトのこ		関東	•	両手開き小指を付けて右側を隠す / アルバイト	•	(夜+見えない)の表現があったため使うことに した。また、隠れて行うさまが意味に合うので、
		L SI	JSやブログたどのイン		北信越		「ダメ」+「仕事」	組み合わせ	<秘密>に「闇B」のラベルを追加し、A・Bを提
	a 21	ターネ	ベット上で募集が行われる あり、「簡単な作業で□当		東海	•	「隠れる」→「アルバイト」	<闍B> △	案することに。
³⁴ ほうじ	バイト	10/41	円」					ラベルの追加	<闇バイトA> ⇒<闇>+<アルバイト>
³⁴ ほうじ		りなと	5万円稼げる楽なバイ どの言葉で若者を勧誘し		近畿	•	罪 + バイト	<闇バイトB>	(<闇>…<夜>と<見えない>の合成) <闇B>
³⁴ ほうじ		ている	5。(船橋市公式HP)		中国	•	隠す + 仕事	● 組み合わせ	⇒< 秘密B・暗黙>と同じ(両手で口元かくす) <闇バイトB>
³⁴ ほうじ					四国	ア	目を隠した状態で横を向いて /仕事/	WITC)- [] 40 C	⇒<秘密B・暗黙・闇B>+<アルバイト> ※関東班・東海班の案を採用
³⁴ ほうじ									※関本処・米荷処ツ来で採用
³⁴ ほうじ					九州	•	裏 + 悪い + 働く		
³⁴ ほうじ					北海道 東北	• ©	指文字「ほ」+「お茶」 指文字で「ホ」+ 茶		
³⁴ ほうじ					関東	0	指スナ (・		
34 ほうじ			や茎茶、番茶などを強火	-	北信越	ア	指文字「ほ」を回す + お茶を注ぐ仕草		「焙じる」「煎ずる」の表現を考えてみたが、お茶の専門会に関いてからかませた。
(4)U	_{ちゃ} か 女	るい女	に製造したものをいいま 茶との違いは焙じている		東海	•	「茶色」→「茶」	保留	の専門家に聞いてから検討をすることに。 または来年度の「創作手話コンテスト」課題にし
	ノレクポ		ないか。 のやHP)		近畿	•	わかす + 茶		たい。
		(36)	/		中国	•	ほ指文字 + 茶		
					四国	保	鍋で回しながら煎る様子をして/茶/		
					九州	保	非利き手:指文字「ほ」+ 利き手「お茶」 指文字「せ」+「お茶」		
1 1		前太り	は緑茶の中の一つの種類。		東北	0	指文子で「十」お糸」 指文字で「七」+茶		
			ま、生のお茶の葉を発酵させ	玉露(ぎょく	関東	0	両手で茶葉をもむ仕草/お茶		
		緑茶にた不多	巻酵茶で、煎茶(せんちゃ)、		北信越	ア	前 + お茶を注ぐ仕草		「焙じる」「煎ずる」の表現を考えてみたが、お茶の専門家に聞いてから検討をすることに。
35 煎茶		緑茶I た不多 ろ)、る	き酵茶で、煎茶(せんちゃ)、 香茶(ばんちゃ)、抹茶(まっち うじちゃ)など、さまざまなおま	5ゃ)、焙じ	1610/02	•	「蒸す」→「茶」	保留	または来年度の「創作手話コンテスト」課題にしたい。
W/VIV	ちゃ な	緑茶i た不子 ろ)、 茶(は 茶(は	番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっち うじちゃ)など、さまざまなおす 名を指す。	らゃ)、焙じ 茶をまとめた	東海	•			
	ちゃ 茶	緑茶(ま た不) 茶(ま 茶(ま その 緑茶(緑茶(番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっち うじちゃ)など、さまざまなおす 名を指す。 中で現代の日本人が日常に負 り代表が煎茶。	ちゃ)、焙じ 茶をまとめた 飲んでいる	東海近畿	•	茶・茶・茶(3回繰り返す)		
	5 **	緑茶に た不 ろ)、(ま 茶 ギ (で そ 茶 緑 大 形 で び り そ そ そ そ そ そ そ そ そ り た そ り た ち た ち ち た ち た ち た ち た ち た ち ち た ち た	番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっち うじちゃ)など、さまざまなおえ をち指す。 中で現代の日本人が日常に負 り代表が煎茶。 と遮らずに栽培し、茶葉を蒸!	ちゃ)、焙じ 茶をまとめた 飲んでいる して揉みな	東海 近畿 中国	•	せ指文字 + 茶		
	ちゃ 茶	緑茶に た不 ろ)、(ま 茶 ギ (で そ 茶 緑 大 形 で び り そ そ そ そ そ そ そ そ そ り た そ り た ち た ち ち た ち た ち た ち た ち た ち ち た ち た	番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっちうじちゃ)など、さまざまなおするを指す。 見を指す。 中で現代の日本人が日常に負 り代表が煎茶。 た渡らずに栽培し、茶葉を蒸 に焼きせたものです。 (水と4	ちゃ)、焙じ 茶をまとめた 飲んでいる して揉みな	東海 近畿 中国 四国	•	世指文字 + 茶 /せん(指文字)/茶/		
	ちゃ 茶	緑茶に たろう(は 茶呼び中 そ茶 日光き がら朝	番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっちうじちゃ)など、さまざまなおするを指す。 見を指す。 中で現代の日本人が日常に負 り代表が煎茶。 た渡らずに栽培し、茶葉を蒸 に焼きせたものです。 (水と4	ちゃ)、焙じ 茶をまとめた 飲んでいる して揉みな	東海 近畿 中国 四国 九州	● ● 保	せ指文字 + 茶		
	5.* *	緑茶に たろう(は 茶呼び中 そ茶 日光き がら朝	番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっちうじちゃ)など、さまざまなおするを指す。 見を指す。 中で現代の日本人が日常に負 り代表が煎茶。 た渡らずに栽培し、茶葉を蒸 に焼きせたものです。 (水と4	ちゃ)、焙じ 茶をまとめた 飲んでいる して揉みな	東海 近畿 中国 四国 九州 北海道	● ● 保 ○	せ指文字 + 茶 /せん(指文字)/茶/ 非利き手:指文字「せ」+ 利き手「お茶」 右手を軽くにぎり左手親指人差し指で丸を作り 右手上に動かす		
	5. P.	緑茶/ たて、 茶 茶 一 茶 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっちうじちゃ)など、さまざまなおれるを指す。 中で現代の日本人が日常に負 中で現表が煎茶。 と遮らずに栽培し、茶葉を蒸 た燥させたものです。(水と生 ORY)	ちゃ)、焙じ 茶をまとめた 飲んでいる して揉みな	東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東北	● ● 保 ○	世指文字 + 茶 /せん(指文字)/茶/ 非利き手:指文字「せ」+ 利き手「お茶」 右手を軽くにぎり左手親指人差し指で丸を作り 右手上に動かす 左の指文字で「シ」+ きのこ		Official Parish 1 1 to a well like at 1 1
	5.** **	緑茶に たた、 う)、(ほ 呼び中の 母 光光 乾 SUNT	番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっちうじちゃ)など、さまざまなおするを指す。 Pで現代の日本人が日常に負い代表が煎茶。 Pでまが煎茶。 Cをらずに栽培し、茶葉を蒸に燥させたものです。 (水と4)	ちゃ)、焙じ 茶をまとめた 飲んでいる して揉みな	東海 近畿 中国 四国 九州 北海道	● ● 保 ○	せ指文字 + 茶 /せん(指文字)/茶/ 非利き手:指文字「せ」+ 利き手「お茶」 右手を軽くにぎり左手親指人差し指で丸を作り 右手上に動かす		9班の案は、どの班もしめじの形を模してわかり やすい表現であった。< えのきだけ>やくまい
³⁶ しめじ	ちゃ 茶	 緑茶下す 音 木木 本本 本子 本子 本子 本子 本子 本子	番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっち おとか)など、さまざまなおす おと指す。 中で現代の日本人が日常に負 で現まが煎茶。 と遮らずに栽培し、茶葉を蒸 た燥させたものです。(水と4 ORY)	ちゃ)、焙じ 茶をまとめた 飲んでいる して揉みな	東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東北	● ● 保 ○	世指文字 + 茶 /せん(指文字)/茶/ 非利き手:指文字「せ」+ 利き手「お茶」 右手を軽くにぎり左手親指人差し指で丸を作り 右手上に動かす 左の指文字で「シ」+ きのこ すぼめた左手指先に右手指先を円を描くように		
		緑木7 茶木7 そ 茶でで、 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 でで、 で い で で で り で し に に た い で り に し た り に し た り し に し た り し に し た り し し に た り し し に た し し に た し し に た し に た し に た し に た し に た し に た し に た と し に た と し に た と し に た と し に た と し に た と し に た と し に た と し と し と し に た と し と し と し と し と し と し と し と し と し と	番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっちうじちゃ)など、さまざまなおれるを指す。 中で現代の日本人が日常に負い表が煎茶。 とを持す。 (水をずに栽培し、茶葉を蒸に焼きせたものです。 (水と4) 「せがなく、和洋中といろ、料理に使いやすいこと、気のぶなしめじ。しめじ、占地、湿地」と書き、一面さん生えるという「占め	ちゃ)、焙じ 茶をまとめた 飲んでいる して揉みな	東海 近畿 中国 九州 北海道 東北 関東	● ● 保 ○ ○	世指文字 + 茶 /せん(指文字)/茶/ 非利き手:指文字「せ」+ 利き手「お茶」 右手を軽くにぎり左手親指人差し指で丸を作り 右手上に動かす 左の指文字で「シ」+ きのこ すぼめた左手指先に右手指先を円を描くように 数回付ける		やすい表現であった。<えのきだけンやくまいたけ>などの標準手話と区別できる表現を選んだ。
		緑木子 香木 大子 で	番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっち) うじちゃ)など、さまざまなおす 名を指す。 中で現代の日本人が日常に負 の代表が煎茶。 と遊らずに栽培し、茶葉を蒸 だ燥させたものです。 (水と生 ORY) はせがなく、和洋中といろ と料理に使いやすいこと 点のぶなしめじ。しめじ 占地、湿地」と書き、一面 さん生えるという「占め 湿地に生える「湿る」の2	ちゃ)、焙じ 茶をまとめた 飲んでいる して揉みな	東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿	● 保 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	世指文字 + 茶 /せん(指文字)/茶/ 非利き手:指文字「せ」+ 利き手「お茶」 右手を軽くにぎり左手親指人差し指で丸を作り 右手上に動かす 左の指文字で「シ」+ きのこ すぼめた左手指先に右手指先を円を描くように 数回付ける 左手で軸の部分を表し + 右手で傘を表現		やすい表現であった。<えのきだけ>や<まい
		緑木子 香木 大子 で	番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっちうじちゃ)など、さまざまなおれるを指す。 中で現代の日本人が日常に負いたまが煎茶。 と恋らずに栽培し、茶葉を蒸気燥させたものです。 (水と生のRY) 「せがなく、和洋中といろ料理に使いやすいこと、表のぶなしめじ、しめじ、しめじ、出地」と書き、占地、湿地」と書き、占地、湿地」と書き、占地、湿地に生える「湿る」の2章味を表す。(キュー	ちゃ)、焙じ 茶をまとめた 飲んでいる して揉みな	東海 近畿 中国 九州 北海道 東北 関東 北信越	● (R) (O) (O) (O) (O) (O) (O) (O) (O) (O) (O	世指文字 + 茶 /せん(指文字)/茶/ 非利き手:指文字「せ」+ 利き手「お茶」 右手を軽くにざり左手親指人差し指で丸を作り 右手上に動かす 左の指文字で「シ」+ きのこ すぼめた左手指先に右手指先を円を描くように 数回付ける 左手で軸の部分を表し + 右手で傘を表現 左手「石突きの形」+右手2指の輪を回らせる		やすい表現であった。<えのきだけ>やくまい たけ>などの標準手話と区別できる表現を選ん だ。 ⇒指先を上に向けた左手の指先に5指をつま
		様	番茶(ばんちゃ)、抹茶(まっちうじちゃ)など、さまざまなおれるを指す。 中で現代の日本人が日常に負いたまが煎茶。 と恋らずに栽培し、茶葉を蒸気燥させたものです。 (水と生のRY) 「せがなく、和洋中といろ料理に使いやすいこと、表のぶなしめじ、しめじ、しめじ、出地」と書き、占地、湿地」と書き、占地、湿地」と書き、占地、湿地に生える「湿る」の2章味を表す。(キュー	ちゃ)、焙じ 茶をまとめた 飲んでいる して揉みな	東海 近畿 中国 四国 九州 北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿	● 保 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	世指文字 + 茶 /世ん(指文字)/茶/ 非利き手:指文字「世」+ 利き手「お茶」 右手を軽くにぎり左手親指人差し指で丸を作り 右手上に動かす 左の指文字で「シ」+ きのこ すぼめた左手指先に右手指先を円を描くように 数回付ける 左手で軸の部分を表し + 右手で傘を表現 左手「石突きの形」+右手2指の輪を回らせる 片手の指先にもう一方の手で花のように表す		やすい表現であった。< えのきだけ>やくまいたけ>などの標準手話と区別できる表現を選んだ。 ⇒指先を上に向けた左手の指先に5指をつま んだ右手を位置を変えて3回つける

			北海道	•	左手拳に指文字「ひ」をのせ一周 + 「関係」		
		Wi-Fi対応のパソコンやゲーム	東北	©	インターネット共有のマークの形から表現		
		機などからスマートフォン、もし	関東		国際手話指文字「W」/ 右手掌下向きで指先を		
		くは4Gケータイをアクセスポイ ント(Wi-Fiルーター)としてイ			前に出す 左手はスマホを持つ形 + 右手を広げ、ネット		
		ンターネット接続できる通信機 能。	北信越	0	ワークを表現		本委員会で表現を考案したが、日本語のラベ
37	テザリング	「テザリングオプション」をご利	東海	0	両手2指の輪をくっつける(デザリングのマーク をイメージ)	保留	ル表記を確認する必要があるため、保留。
		用いただくと、Wi-Fiに対応し たゲーム機やパソコンを自宅	近畿	ア	スマホを電波が通って広がる様子		
		や外出先でインターネットに接続できるようになります。	中国	•	スマホ + センサーか接続		
		(Softbank)	四国	0	テザリングのマーク /c/を横向けにして上下嚙合わせる		
			九州	•	両手「d」をつくり、関係		
			北海道	•	「赤」+「刺身」		
			東北	0	「赤」+ 右手で胸を下に向け、ゆっくり下げる		「赤身」は魚だけではない。肉もあるのでラベル に()を追記することに。
			関東	•	赤 / 刺身	<(魚などの)身>	「身」の表現について、9班の案を見ると、関東 班・近畿班の表現が分かりやすいので採用する
	^{さかな} (魚などの)	① 動物、特に魚の肉の赤い 部分。⇔白身。	北信越	0	「赤」+ 指差し	◎ 新規	ことに。
38	あかみ	② 木材の中心部の赤みを帯 びた堅いところ。心材。⇔自太	東海	•	「赤」→「(指文字の)み」	<(魚などの)赤身>	<(魚などの)身> ⇒左手の甲を右手で1回なでる
	赤身	(しらた) (goo国語辞書)	近畿	ア	赤 + 片手の甲をなでる	•	<(魚などの)赤身>
			中国	保	赤 + 身 /赤/身をつまむようす	組み合わせ	⇒<赤>+<(魚などの)身>
			九州		ホ + 非利き手を利き手でつつみフェードアウト		※関東班・近畿班の案を採用
				•	7,1111111111111111111111111111111111111		
			北海道東北	• ©	「白」+「刺身」 「白」+ 右手で胸を下に向け、ゆっくり下げる		
		① 中、性) 2.4.中の中、如八	関東	•	白/刺身		
	さかな	① 肉、特に魚肉の白い部分。 また、タイ・ヒラメなど、肉の白	北信越	0	「白」+ 指差し		「赤身」と同様に。 <白>は、歯を少し見せる。
39	(魚な どの)	い魚。 (例:「白身の魚」など) ② 卵の中身の、黄身(きみ)を	東海	•	「白」→「(指文字の)み」	●	
	しろみ 白身	包む透明な部分。卵白。 ③ 材木の、色の白い部分。し	近畿	ア	白 + 片手の甲をなでる	組み合わせ	⇒<白>+<(魚などの)身>
		らた。(goo国語辞書)	中国	•	白 + 身		※関東班・近畿班の案を採用
			四国	保	/白/身をつまむようす		
			九州	•	白 + 非利き手を利き手でつつみフェードアウト		
			北海道	•	「竹」+右手で「新しい」		
			東北	0	「筍」の形からしぐさ		
		イネ科の植物。竹の地下茎か ら伸びた若い茎がたけのこ	関東	保	タケノコ(学 I P471)		
	+ + 0 =	で、竹の種類や大きさによっ	北信越	0	両手で指文字「ほ」を重ね合わせ、タケノコの形 を表現		
40	たけのこ 筍(タケノコ)	て、味などが違う。 地上に出て、一旬(10日間)で	東海	Δ	(わたしたちの手話学習辞典 P.471記載あり)	ボツ	既存手話でOKとした。
		竹になるので、筍(たけのこ)と いう漢字で書かれます。	近畿	保	筍を表す様子		
		(Yahoo!キッズ)	中国	•	竹 + 大きくなる		
			四国	×	学1-470 /たけのこ/		
			九州	保	たけのこ 左手指文字「ひ」を中央に、右手「花」を左から		
		- 11がいマンハロ星の女に世	北海道	0	右へ		\(\lambda \) \(\tau
		ユリ科ヒアシンス属の多年草。 地中海沿岸のギリシャやシリ	東北	0	指文字で「ヒ」+花		今後、花や鳥の表現を検討するときのルールを どうするか検討した。
		ア、レバノンが原産。 3月から4月ごろ、短い花茎を	関東	0	左手人差指立てた外側で、指先つけた右手5 指を開閉しながら上に動かし指先の所で開く		特徴がある場合は、特徴を取り入れた表現を、 そうではない場合は、指文字で表す意見もあっ
		のぱして小さな花を咲かせる。 花には甘い芳香があり、花色	北信越	0	左手人差し指で茎を表し+ 右手で花びらを表		たが、表現の最初に〈花B〉(回転する)をつけてはどうかということで意見がまとまった。
41	ヒヤシンス	も赤色やピンク色、白色、青	東海	0	現。上から下へ。 左手人差し指の上から下へ花びらが咲いている	◎ 新規	9班の案を見ると、中国班の案が分かりやすいということで(「花」は自分に向けてパッパッ)採
		色、紫色などと豊富。 名前は、ギリシャ神話の美少			様子を右手で表現	701796	用。
		年ヒアキントスに由来します。 別名で「にしきゆり(錦百合)」	近畿 中国	0	ヒヤシンスの様子を表現 ヒヤシンスの形		⇒<花B>(回転)+左手人差指に沿って掌を 手前に向けた右手を小さくパッパッと数回表す
		とも呼ばれる。	四国	•	/花/ヒヤシンス(指文字9)		
		(アタリヤ農園)	九州	ア	花 + 両手でヒヤシンスの形を下から上に表現		※中国班の案を参考
				ア			
			北海道東北) (ii)	「柔らかい」		
			関東		両手指先を柔らかく開閉しながら頭から肩まで		
		動物のエムパが曲)ー **;		0	下げる		
42		動物の毛などが豊かで、やわらかいさわり心地であるさま。	北信越	0	身体の前で「ふわふわな雲」の手話を表現。 左手肩から手首の方に、右手を乗せて柔らかな	保留	今後、オノマトペをまとめて検討する機会を作る
74	もふもふ	名詞的にも用いる。 (例:「もふもふした子猫」など)	東海	© -	感じで動かしながら移動	小田	こととして保留に。
			近畿	© ^	柔らかく両手で表現		
			中国		ふわふわ めわらかい様フ		
			九州	アア	やわらかい様子 両手で抱いて、頬をこすりつけるようなしぐさ		
					2指をつまんで動かし+くちばしの上で「可愛		
		鳥の亜種であるシマエナガ は、スズメ目エナガ科の鳥。常	北海道	•	ויין		
		に5~10羽ほどの群れを形成	東北	0	やわらかい+ 鳥		花の種類と同様に、特徴がある場合には、特徴 的な表現とし、そうでない場合は、最初に<鳥
		して生活している。 体長は約10~14cm、体重は	関東	0	もふもふ / 鳥		>をつける。 <鳥A>…羽ばたく表現⇒大きい鳥の場合に
43		10gほどとスズメよりも小柄。 「雪の妖精」と呼ばれている。	北信越	0	左手を「C」の形にし + 右手でくちばしを表現		使う <鳥B>…口ばし1回
10	シマエナガ	(サンシャイン水族館いきふぉ	東海	×	(東海班は日常生活で見ることがないため)	組み合わせ	<鳥C>…口ばし2回→小さい鳥の場合に使う
		めーしょん) ※縞模様がないのに「シマ」が	近畿	ア	鳥 + もふもふ 4 と 4 と 自		⇒<鳥C>(口ばし2回)+<柔らかい>
		つくのは、「縞」ではなく「島」。 生息地の北海づからついた名	中国	•	もふもふ + 鳥 /鳥/シマエナガ(指文字)		※近畿班・中国班の案を参考
		前だから。	九州	•	雪 + 鳥		
	1	1					1

			H 16-115	_	Lower Ford Lower Folia		
			北海道		右手「歌」+左手「鳥」		日本三鳴鳥(ウグイス、オオルリ、コマドリ)がい
		スズメ目ウグイス科の鳥で、全長14-16cm、東	東北関東	0	指文字で「ウ」+ 鳥声 / 鳥		るが、歌うように鳴くのはウグイスだけ。「春を呼
		アジアに分布。日本では全国で見られる。 「ホーホケキョ」という鳴き声で、「春告鳥」とも	北信越		ア / 鳥 「春」 + くちばし		ぶ鳥」とも言われているが、「歌」の表現を採用することになった。 9班の案を見ると、北海道班の案が近い。
44	うぐいす	呼ばれている日本三鳴鳥の一種。 スズメ大で、背面はあせたオリーブ色をしてお		0	「(指文字の)う」+「鳥」	•	9班の案を見ると、北海追班の案が近い。 <鳥A>…羽根の表現⇒大きい鳥の場合に使
	鶯	り腹は白い。脚の付け根は薄い肉色をしている。顔の特徴としては、嘴が黄色く白い眉斑が		•	ほ↑+鳥	組み合わせ	う <鳥C>…口ばし2回⇒小さい鳥の場合に使う
		走っている。	中国	•	春+鳥		のルールに合わせて、<鳥C>を使うことに。
		(目に見える生き物図鑑)	四国	•	/鳥/うぐいす(指文字)		⇒左手<鳥C>+左手残して、右手<歌> ※北海道班の案を参考
			九州	•	鶯の目元の線を書く表現 + 鳥		
			北海道	•	「白」+「鳥」		
			東北	0	白 + 鳥		のボの安む目れ、ノウンエノ自への知る合い
		カモ科ハクチョウ属の水鳥の6	関東	•	白/鳥		9班の案を見ると、<白>+<鳥>の組み合わせが多い。<赤>と<白>を間違わないようにまたい悪がなる。
		種の総称で、現生の空を飛ぶ 鳥の中では最大級の大きさ・	北信越	保	「白」+ 鳥が羽ばたく仕草		表す必要がある。羽ばたく動作は、あまりパタパタしないで、すこし優雅に動かしたい。
45	はくちょう 白鳥	重量を有している。日本で越 冬する白鳥は、オオハクチョウ	東海	•	「白」→「翼・羽」	組み合わせ	⇒<白>+<鳥A>(はばたく)
	, , , , ,	とコハクチョウの2種類である。	近畿中国	•	白 + 羽根を広げる白 + 鳥(飛ぶ)		(優雅に羽ばたくように表す)
		(茨城 V Rツアー)			クロー 局(パタ) /白/鳥(羽) または 片手で白鳥の胴体を表現		※北海道班・北信越班・東海班・近畿班・中国 班四国班②・九州班の案を採用
			四国	保	しもう一方の手で羽を表現		
			九州	0	白い + 両手を羽にみたて動かす 2指をつまんで長くし動かし+左手「鳥」		
			東北	0	指文字で「サ」+鳥		「サギ」には後頭部2本の羽があるとは限らな
		鳥綱ペリカン目サギ科	関東	保	指文字「む」を口の前から弧を描いて2回前方		い。ゆっくりとした動きも特徴的だが、通訳の時はやりにくい。また、飛ぶときに首をS字型に曲
		(Ardeidae)に属する。この科 には世界で約60種が記録され	北信越		に動かす 鷺のくちばしの形を表現(新潟の手話)		げる特徴があるが、<コブラ>に似ているように見えるため却下。
46	さぎ 18	ており、形態や生態は多様。 サギ鳥は長い脚と首が特徴的	東海	0	「(指文字の)さ1+「鶴」	Φ Π 7. Δ 1- 11-	9班の案を見ると、東海班の案がシンプルで良
	THE STATE OF THE S	で、静かに水辺を歩き、急な動作で水中の魚や小動物を	近畿	ア	鳥の手話を手前へ持っていく	組み合わせ	いということで意見がまとまった。
		捕食する。	中国	•	2本の飾り羽 + 鳥(飛ぶ)		⇒左手指文字<サ>+左手残して、右手<鶴 >
		(チバニアン兼業農学校HP)	四国	保	/鳥/頭の部分の特徴を表現(長い毛)		※東海班の案を採用
			九州	ア	指文字「ろ」で鼻の位置から口ばしの形をつくる + 鳥(両手)		
			北海道	0	「黄色」+2指をつまんで動かし+「鳥」		
			東北	0	指文字で「カ」+ 鳥		
		チドリ目カモメ科の鳥。全長	関東	保	両手を手首で交差させ羽ばたかせて右前方に 動かす		9班の案を見ると、両手を手首で交差させて羽ばたく表現が多く、保存手話と見られる。そのま
	かもめ	約45センチ。背が灰色のほか は白く、くちばし・足が黄色。	北信越	保	両手でカモメが飛ぶ様子を表現	保	ま採用とした。
47		ユーラシア・北アメリカ北部に 分布。日本には冬鳥として海	東海	0	両手を交差してかもめの羽ばたきをイメージ	保存手話	⇒両手を手首で交差させ、羽ばたくように左斜 め上へ3回動かす
		岸や港に渡来する。(goo国 語辞書)	近畿	ア	両手を重ねて、鳥がはばたく様子		※関東班·北信越班·東海班·近畿班·九州班
		BLEFT ET	中国四国	保	か指文字 + 鳥(飛ぶ) 両手人差し指で飛んでいく様子を表現		の案を採用
			九州	•	指文字「く」鳥の羽ばたく様子を表現		
			北海道		口のところで2指をつまんで曲げる(口ばし)+		
			東北	0	「鳥」 指文字で「イ」+ 鳥		
		オウム目オウム科のうち、羽冠	関東	0	甲を口に付けた右手2指の指先を2回付ける		9班の案を見ると、指文字「イ」をつかった表現、しゃべる鳥の表現などが見られたが、東海班の
		をもつ大型のオウム類を除い た鳥の総称。	北信越	0	口の前でくちばしパクパク(おしゃべりを表現)		表現を参考にして、<鳥C>の動きをアレンジとした。
48	20	鳥の中でも特におしゃべりが 上手な品種で、ペットとして愛	東海	0	右手を指文字Tのようにしてくちばしの動きをイ メージ	ア アレンジ	⇒口元で、指を折り曲げた人差指に親指の先
	インコ	されているセキセイインコが有	近畿	ア	おしゃべり + 鳥) 000	を入れ人差指の先を2回動かす (<鳥C>のアレンジ)
		名。 (コトバンクほか)	中国	•	イ + 鳥		※東海班の案を参考
			四国	•	/鳥/ インコ		※米伊 <u>如</u> の来で参考
			九州	•	I LOVE YOUの親指と人さし指で鳥を表現し 口元にもっていく		
			北海道	0	2指をつまんで前に出す+左手2指をつまみながら後ろへ		
		キジ目キジ科の鳥。全長は、	東北	0	指文字で「キ」+ 鳥		
		雄が尾が長いので80~100セ ンチ、雌が50~60センチ。雄	関東	0	赤 / 5指を開きながら両手を頭の左右で後ろに		
		は暗緑色を主とする多彩な色	北信越		動かす / 鳥 日本(尾羽)+鳥(日本の手話と長い尾羽の手		
49	きじ 雉	で、目の周りに赤い肉垂れが ある。雌は全体に褐色。北海			話表現が似ている) 左手を鳥のくちばし、右手を左手から横方向に	ボツ	既存手話でOKとした。
	万 胜	道を除く日本各地の明るい林 や草原にすみ、地上で餌をと	東海	0	尻尾のイメージで動かしていく		
		る。雄はケンケーンと大きな声で鳴く。日本の国鳥。(goo国	近畿中国	•	日本 + 鳥		
		語辞書)	四国	×	学2-181		
			九州	•	両手で目の周りの肉垂れを表現 + 鳥(両手)		
			北海道	•	「文」+「鳥」		
		インドネシア原産のスズメ目カ エデチョウ科に属する小鳥で、	東北	0	文 + 鳥		9班の案を見ると、だいたい同じ表現だが、標準
		英語名は「Java sparrow」で す。体長は約15cm、体重はお	関東	0	指先左で右手人差指(おみくじ)を口に当てる/ 鳥		手話の<文>と<文章>を区別する必要があ
	**/+ *	およそ25gです。滑らかで光沢	北信越	0	「文」+ くちばし	る。 <文>…両手の親指のつ	<文>…両手の親指のつけ根で組み合わせる
50	ぶんちょう 文鳥	のある羽毛がきれいなことや、 目の周りの赤い縁取りが特徴	東海	0	「文」→「鳥(くちばし)」	● 組み合わせ	<文章>…両手の親指のつけ根で組み合わせ、下へ下ろす
		として知られている。 江戸時代から日本に輸入さ	近畿	•	文 + 鳥	組み合わせ 	⇒<文>+<鳥C>(口ばし2回)
		れ、観賞用として多くの人々に 親しまれてきた。(東京ECOい	中国	•	文 + 鳥		※東北班・東海班・近畿班の案を採用
		きもの図鑑)	四国	•	/文/鳥/		
			九州	•	文 + 鳥		

ı						「皮、」ナス化と曲ば、細化のしょと下に到る。	1	
		カスタマーハラスメントの略 称。顧客や取引先などからの		北海道	0	「客」+右手指を曲げ、親指の上から下に動かす	<ハラスメント>	「○○ハラスメント」が多数ある。 今後の確定の
		クレーム・言動のうち、当該ク		東北	0	不満 + パワーハラスメント	ア アレンジ	ために「ハラスメント」の手話を作ることに。<い じめる>とも区別したい。
		レーム・言動の要求の内容が 妥当性を欠いているもの、また	※意味に合わせ	関東	•	客 / オーバー / 怒られる	<パワーハラスメントB	
	カスハラ(カ	当該要求を実現するための手 段・態様が社会通念上不相当	た表現となってい るため「ハラスメン	北信越	0	「客」+「ハラスメント」	> 7	⇒左手人差指の上で右手掌を強く右へ回す (<パワーハラスメント>の②を人差指にかえ
		であり、それらによって従業員 の就業環境が害されるものを	ト」の標準手話は 作っていません。			-	アレンジ	て表すアレンジ)
51	スタマーハラ	指す。 【以下、該当例】「身体・精神的	<パワーハラスメ ント(2011-29・ 学Ⅱ-334)>	東海	0	「お客」(上の空間で表現)→「ハラスメント」	<人種ハラスメントB >	従来の表現に加え「B」を作った。 <パワーハラスメントB>
	スメント)	な攻撃」「威圧的な言動」「土 下座・行き過ぎた謝罪の要求」	<人種ハラスメント(2017-16)>	近畿	•	お客 + いじめる	● 組み合わせ	⇒<パワーハラスメント>の①②とも左手は人 差指にかえて表す
	, , ,	「繰り返される執拗な言動」「不退去、居座り、監禁など」「性	ほか	中国	•	クレーム + 怒る	<カスハラ(カスタ	<人種ハラスメントB> ⇒<人々>+<ハラスメント>
		的な言動や性差別」「従業員		四国	•	/不満/ を立てた親指に向けて上から押しつける	マーハラスメント) > ●	<カスハラ(カスタマーハラスメント) > ⇒<客>+<ハラスメント>
		個人への要求」「商品や金銭 の要求など」		九州	•	客 + 圧	組み合わせ	※北信越班・東海班の案を参考
				北海道	0	「スポーツ」+ 左手指文字「た」に向けて上から		
		スポーツの現場において、「暴		東北	0	右手指を曲げ上下に動かす スポーツ + パワーハラスメント		Carried State Approximately No.
		力」、「暴言」、「ハラスメント」、 「差別」など"安全・安心にス		関東	•	スポーツ / オーバー / いじめる	<スポハラ(スポー ツハラスメント)A>	<ハラスメント>を作ったので、<スポーツB> と<競技・スポーツC>をそれぞれ組み合わせ ることに。
	スポハラ(ス	ポーツを楽しむことを害する行 為"のこと。		北信越	0	「スポーツ」+「ハラスメント」	● 組み合わせ	る_こに。 <スポハラ(スポーツハラスメント)A>
52	ポーツハラス	指導者と指導を受ける者との 関係のみならず、スポーツの		東海	0	「スポーツ」→「ハラスメント」		→ < スポーツB > (5指) + < ハラスメント > ※北信越班・四国班の案を参考
	•	現場における関係者の誰に よっても、また誰に対してで		近畿	•	スポーツ + いじめる	<スポハラ(スポー ツハラスメントB>	
	メント)	あっても、スポハラは起こりえ		中国	•	スポーツ + 怒る /スポーツ/ を立てた親指に向けて上から押し	● 組み合わせ	⇒<競技・スポーツC>+<ハラスメント>
		る。 (日本オリンピック委員会)		四国	•	付ける		※東海班の案を参考
				九州	•	スポーツ+圧		
		① 恥をかかせる。 恥辱を与え		北海道	ア・	●「傷つける」 ●両手人差し指をクロスし右・左に下げる		
		る。(例:「満座の中で辱められ		東北	0	左親指を立て、右人差指で力強く動かす		<傷つける・傷害>と区別をしたい。<プラス> とも似ているので区別を。 標準手話として、人差
		た」など) ② 地位や名誉などを傷つけ_		関東	•	恥 / 立てた左手親指を右手人差指で指す		し指の背側にもう一方の人差し指を打ち付ける (とめる)表現を選んだ。実際の表現では、両手
53	^{はずかし} 辱める	る。けがす。また、自分の力量 以上の地位や役職につく。		北信越東海	△	「侮辱」 「侮辱(P.119)」を相手側へ	アアレンジ	とも前に払ってもかまわない。
	砕める	(例:「母校の名を辱める」な ど)		近畿	保	自分にむけて親指を切る様子	1000	⇒掌を前に向けた左手人差指の背側に右手 人差指を強くあてる
		③ 女性を犯す。凌辱する。 (例:「暴漢に辱められる」など)		中国	保	傷つける		(<侮辱>のアレンジ)
		(goo国語辞書)		四国	ア	/ 恥じ/(×)を体に当てる		※北信越班の案を両手人差指で表す
				九州	ア	罰をつくり下のほうへ押し出す		
				北海道	ア	強要」		
				東北	© /¤	無理 + 指名 顔の横で2指の指先を強く2回付ける / 強く指		
		無理に要求すること。無理やり		関東	保	示		以前確定した<強制>の表現と意味が同じな
54	きょうよう	させようとすること。		北信越	0	「無理やり」+ 指差し (わたしたちの手話学習辞典Ⅱ P.199記載あ	Δ	ので、ラベル追加とした。
34	きょうよう 強要	を強要する」など)		東海	Δ	9)	ラベルの追加	⇒<強制>と同じ
		(goo国語辞書ほか)		近畿中国	ア •	無理 + やらせる 無理やり + 怒る		※北海道班・東海班の案を採用
				四国	•	/無理やり/指さして命令する様子		
				九州	保	圧(上から強く)		
				北海道	•	左手数字の「2」+右手「いろいろ」		
				東北	0	立てた左手掌 + いろいろ		
				関東	保	指先前の右手2指を数回返しながら左から右に 動かす		9班の案を見ると、<いろいろ>を使った表現が多く、よく似た標準手話がないか調べたところ
	バリエーショ	① 物事の変化。また、物の変型・変種など。		北信越	0	左掌を上に向け + 指文字「は」を表・裏・表・裏 と異動	Δ	<バラエティ>があった。ラベル追加とした。
55		② 変奏曲。 (goo国語辞書)		東海	Δ	「分科(会)」にラベル追加	ラベルの追加	⇒<バラエティ>と同じ (<いろいろ>は左手の上で表す)
	ン	(多00四四叶音)		近畿	ア	「方針」の片手をいろいろの表現で		※東北班・近畿班の案を採用
				中国	•	色々+変化		WASHINGT STRUGGESTS OF TWAN
				四国九州	アア	/種類/のアレンジ 右手を丸めて開く 非利き手の掌を上に、利き手で「色々」		
				北海道	ア・	●「計画」人差し指は強めに引く ②右手縦に		
		(n) 4d → 31 / − 1			0	下に下ろし+「区分け」 左手の小指側に沿って右手人差指を右へ動か		
		① 線を引くこと。② 計画・予定などを図面・グラ		東北	0	す 指先下向きの右手人差指で左から右へ線を描		の群の安た日でし、とどのよっまでいる。
		フ上に線を引いて表すこと。 (例:「都市再開発の線引きが		関東	保	<		9班の案を見ると、よく似た表現が多かった。 < 設計・計画 > <戦略 > などと区別をするため、
56	^{せんび} 線引き	遅滞する」など) ③ 日限・数量などを区切るこ		北信越	保	5本指で身体の前に線を引く仕草	保 保存手話	片手の表現とした。
	NAY. O. I. C.	と。また、物事の境界を決めて 分けること。(例・「合格者を5人		東海近畿	◎	右手人差し指で線を中央に横切るように切る 体の前の方で横に線を引くように表現	PIC 13 3 HH	⇒指先を下に向けた右手を左から右へ動かす
		までと線引きする」「公私の線		中国	•	線+横		※北信越班・九州班の案を採用
		引きを図る」など)		四国	保	線を引く様子		
				九州	保	利き手で線を引く表現		
				北海道	0	左手のひらを前に出し、右手2指を左手の前に 出し前方へ		
				東北	0	前 + 考える	نده درس	9班の案を見て、よく似た標準手話があるかどう
		① 正面に向くこと。前方に向く		関東	保	小指下側で立てた右手を3回前方に動かす	<積極的B> △	か確認。<熱心・意欲>のラベル追加とした。
	^{まえむき(かん} 前向き(考	こと。まむき。 (例:「前向きに座る」など)		北信越	Δ	A 前+前(軽く表現) B 積極的	ラベルの追加	<積極的B> ⇒< 熱心・意欲>と同じ
57	がえ・しせい)	② 物事に対する姿勢が積極的、建設的であること。(例:		東海	Δ	(わたしたちの手話学習辞典Ⅱ P.128記載あり)	<前向き(考え・姿 勢)>	< 前向き(考え・姿勢) >
	え・姿勢)	「前向きに考える」など)(goo 国語辞書ほか)		近畿	Δ	積極的	デリン △ ラベルの追加	⇒<熱心・意欲・積極的B>と同じ
				中国	△	②前 ②前 + 一歩	ノインバリカ連州	※北信越班②の案を採用
				四国 九州	ア保	前方に掌を押し出す 一生懸命		
		L	<u> </u>	- 9/11	νN			<u> </u>

19		
1		
2		ork order Bart statement and the statement
19		9班の案を見ると、ほぼ同じ表現だったためその まま採用とした。
************************************		⇒<状態・風潮・局面・事態・加減>と同じ
1	ラベルの追加	※東海班・近畿班・中国班・四国班の案を採
1		用
(4) 「		
(1) 在験を感じて、不安である。(※) 「おからにはからない」 「おからにはかくないない」 「おからにはかくないない」 「おからにはかくないない」 「おからにはからない」 「おからにはからない」 「おからにはかくないない」 「おからにはかくないない」 「おからにはかくないない」 「おからにはかくないない」 「おかい」 「おからにはかくないない」 「おからにはかくない」 「おからにない」 「ない」 「ない」 「ない」 「ない」 「ない」 「ない」 「ない」 「		
(別・「という」という。 こか、 (例:「思ろしい目にあう」「職会」	に言わす	
19	,t=3242 7	
15.5 1.1 1.2 1		9班の案を見ると、両拳を震わす表現が多く、 < 寒い・冬 > にラベル追加とした。 <寒い・冬 > に「怖い」のラベルがなかったた
10		<寒い・冬>に「怖い」のラベルがなかったため、こちらも追加した。
10		< = 5
(例: からし、頭の回転が響 になかし、 で	ラベルの追加	⇒<寒い・冬・冷たい・冷めるA・アイス・ホ
1	<恐ろしい>	ラー・冬季>と同じ
1	△ 	<恐ろしい> ⇒<寒い・冬・冷たい・冷めるA・アイス・ホ
(「こんなこと、知らないとは思うない。 日本 1 1 1 1 1 1 1 1 1		ラー・冬季・こわいC>と同じ
1	こ、左右に揺するように	※北海道班·東北班·東海班·中国班·九州班
1		の案を採用
1		
60		
1		Man 27人 一つ、マミ1 - 神(マン)にハローム・・・
### 2		物が余っていること、普通より分量の多いこと、必要な度を超えて無駄なことを意味する。その
また、そのきま、たくなん。(例:「いつもより余計に会べる)「金融な苦労をする」など) (2) 全数な度を超えておだなた。また、そのものや、そのさま、(例:「余計なおととまでしゃなく) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (2		ため、「余っている」「超えている」の表現が必要で「不要」はその結果である、という意見もあっ
(3) 必要な度を超えてむだなこと。また、そのものや、そのよき。(例: 今計なことまでしゃとのよう。(例: 今計なことまでしゃとのよう。(例: 今計なことまでしゃとのよう。(例: 中国 保 の分) 2.3 →倍回 保 /とっと/の手話で、不満 九州 保 不要 (差がある) 東北 (別: 世代間のギャップを 成ころ」など (別: 大部道) 両手2指の指先を向いる 東海 (注: 光別」にラベル追加) 両手4下に広げる 中国 () ①酸間 縦×2 2,3 ー 回国 () /ブれる/ 九州 ア 両手を下に広げる 中国 () ①酸間 縦×2 2,3 ー 回国 () /ブれる/ 九州 ア 両手指文字「あ」で差を (根絶) ※5と同じ 東北 (別: 「最か可なども能かする」「ボリオ根 絶)など) (goo国語辞書ほか) (goo国語辞書ほか) (goo国語辞書ほか) (goo国語辞書にない) (goo」 () (goo」 () () () () () () () () () () () () ()	形を横にしたものに変 <u>△</u> ラベルの追加	たが、「不要」の意味で使うことが多いということで採用した。
April		
か) 回国 保 /もっと/の手話で、不満 九州 保 不要 北海道 ア (差がある) 東北 ① 両手指文字「コの指先を向いる 東北 ② 両手指文字「コの指先を向いる 北海道 ア (差がある) 東北 ② 両手指文字「コの指先を向いる 北海道 ン (例:「世代間のギャップを 感じる」など) 北海道 ン (列差・登別にラベル追加 近畿 〇 (列差・登別にラベル追加 河手を上下に広げる 中国 ○ (列離間 総×2 2,3-四国 △ /寸れる/ 九州 ア 両手を上下に広げる 中国 ○ (列離間 総×2 2,3-四国 △ /寸れる/ 九州 ア 両手指文字「あ」で差を・北海道 ※NO.5 北海道 ※文章通り 東北 ② 太ボーツ界 けるぼうりょくこ における暴力行為が大きな社会問 東北 ② スポーツ / 暴力 / 潰す 東方の素財育る性検討するという強固なさま を表明するもの。 宇成55年月25日に、日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本体育者スポーツ総会 女国高等学校体育連盟および日本中学校体 育選のの団体が開催した「スポーツ / 保における最力 / 3 表別		⇒<不要・不要不急>と同じ
1	そうな顔で表現する	※九州班の案を採用
1		
1 すきま、間隙(かんげき)。 ② 大きなすれ。懸隔。食い違い。(例: 世代間のギャップを感じる」など) ③ 登山用語、稜線がV字形に深く切れこんでいる所。きれっと。(例: 一字 大きなでし、一部 大きなでし。) ④ スキーで、斜面上の凹凸。 ② 大きなずれ。影隔。食い違い。(例: 一字 大きなでし。) ② 大きなずれ。影隔。食い違い。(例: 一字 大きなでし。) ④ スキーで、斜面上の凹凸。 ② 大きなずれ。影隔。食い違い。(例: 「暴力団を根絶する」「ボリオ根絶」などを根本から徹底的に絶やすこと。ねだやし。(例: 「暴力団を根絶する」「ボリオ根絶」など) (goo国語辞書ほか) 「暴力団を根絶する」「ボリオ根絶」など)(goo国語辞書ほか) 「基本」の非利き手を残りる。「大きなした」を表して、なが国におけるスポーツ 大きなしまし、表が国におけるスポーツ 大きない。人が、「大きないう強固な意志を表して、カ州 ● 「基本」の非利き手を残りなど。ないとうこんぜつせ アルシータカ行為を根絶するという強固な意志を表します。 コポーツ + 悪い + 無 関東 ・ スポーツ + 悪い + 無 関東 ・ スポーツ + 悪い + 無 関東 ・ スポーツ + 悪い + 無 関東・		
1 すきま。間隙 (カルげき)。② 大きなずれ、懸隔、食い違い、(例: 世代間のギャップを感じる)など。③ 登山用語。 稜線がV字形に深く切れこんでいる所。きれっと。④ スキーで、斜面上の凹凸。	とつけ、前後へ引き離	
2 大きなずれ、懸隔、食い遠 い。(例:「世代間のギャップを 感じる」など) ③ 登山用語。稜線がV字形に 深く切れこんでいる所。きれっ と。	かけ 左手を下に動か	9班の案を見ると、ずれている、差があることを
61 ギャップ	で、石丁で「仁動が	表す表現が多かった。<ずれる>を、立てて表現することでまとまった。
(4) 全田川市舎、検験が下形に深く切れこんでいる所。きれっと。 スキーで、斜面上の凹凸。	● 予旦 アー	⇒<ずれる(2020年12月確定)>(ねかせる)
(4) スキーで、斜面上の凹凸。 (4) スキーで、斜面上の凹凸。 (5) の隙間 縦×2 2,3-四国 △ / f 1 大 2 / 四国 △ / f 1 大 3 / 元 4	アレンジ	を立てて表す
Table Ta		(<すれる>のアレンジ)
大川 ア 両手指文字「あ」で差を記している。 大小	差	※関東班の案の両手を上下に動かす
1	E TH	
Ref	飞 况	
Rmm	' के	
大きないでは、	. 9	
A		
(goo国語辞書ほか) 近畿 前述(Na.5) 中国 5番と同じ 四国 九州 「基本」の非利き手を残せ渡る。 大ポーツ界 はるぼうりょくこにおける暴力であるともに、我が国におけるスポーツ はるぼうりょくこにおける暴力である根絶するという強固な意志を表明するもの。 でおける暴力である根絶するという強固な意志を表明するもの。 平成25年4月25日に、日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツとおける暴力である根絶に向けた集い」において採択。 (日本オリンピック委員会:抜粋) 本語 日本では、「スポーツ + 早日 ロ国 スポーツ + 早日 スポーツ + 早日 スポーツ + 早日 スポーツ + 早日 スポーツ + 中国 スポーツ + 中国 スポーツ + 中国 スポーツ + 中 + 暴行 大州 スポーツ + 中 + 暴行 大州 スポーツ + 中 + 暴行 大川 マスポーツ + 中 + 暴行 エスポーツ + 中 + 基 エスポーツ + 中 + エスポーツ + 中 + 基 エスポーツ + 中 + エスポーツ + 中 + 基 エスポーツ + 中 + エスポーツ + 和 + 和 + 和 + 和 + 和 + 和 + 和 + 和 + 和 +		No.5と重複
Take Part		
Taking		
# 本語		
### 1	- + 利き手で「切る」	
すぼーつかいにおって		
### 1	(す + 宣言	
はるぼうりょくこ における暴 ういとうこんぜつせ 力行為等根 んげん 絶宣言 「スポーツ」+「侮辱」+「 を表明するもの。 平成25年4月25日に、日本体育協会、日本オ サンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、 全国高等学校体育連盟および日本中学校体 育連盟の5団体が開催した「スポーツ界における暴力行為根絶に向けた集い」において採 択。(日本オリンピック委員会: 抜粋) 「スポーツ + 人 + いじる ・ 本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
を表明するもの。 平成25年4月25日に、日本体育協会、日本オ すいとうこんぜつせ 力行為等根 んげん ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	根絶」+「宣言」	保留
ういとうこんぜつせ 力行為等根 んげん 絶宣言 「シビック委員会、日本障害者スポーツ協会、 全国高等学校体育連盟および日本中学校体 育連盟の5団体が開催した「スポーツ界におけて る暴力行為根絶に向けた集い」において採 択。(日本オリンピック委員会:抜粋) 「地震 ○ スポーツ + 人 + いじる スポーツ + 暴力 + 根 四国 ○ スポーツ + 暴力 + 根 カ州 ○ スポーツ + 中 + 暴行		※パブリックコメント募集し、「根絶」を本確定し
んげん	-	でから組み合わせ、「特集:東京2025デフリンピック関連用語」にて公開する
A を		Cシグ 例 生 用 面 引 に し 公 用 す る
カ州 ● スポーツ + 中 + 暴行 北海道 ア 「当てる」		
北海道 ア 「当てる」		
	十 仮杷 十 旦吉	
東北 ◎ 指文字で「オ」+ 目標		
① 標的。まと、また、販売など 関東 △ 目的 の対象。		9班の案を見ると、ほぼ同じであったのでそのま ま採用。
【(例・「若い女性をターゲットに】 【『『起』 △ 【「目標」	hπ Δ	⇒<目的>と同じ
② 物理学で、高速の粒子を	^加 ラベルの追加	
当てる電極。 (goo国語辞書ほか) 中国 △ 目標、狙う		※北海道班・関東班・東海班・近畿班・中国班 の案を採用
Main		
九州 ア 人さし指で + をつくり、		

				北海道	ア	「霊」		
		「慰める」と「霊」という言葉の組み合わせからわかるように、こ		東北		祈り		<仏・拝む・供養>(両手をすり合わせる)の手
		の世を去った人の霊を慰める、つまり故人の冥福を祈ると		関東	保	5指を曲げ掌上向きの右手を上に動かす(煙)/		話は仏教・お寺的な表現。キリスト教では両手 の指を組む。長崎の慰霊祭では<仏・拝む>
		いう意味がある。慰霊は、身近				拝む 冥福の手話と同じ(左手は手のひらを空に向け	<慰霊A> △	+ 〈落ち着く〉という表現を使っている。 〈祈る・祈祷〉 (両手を合わせ頭を少し下げる)、 〈
	いれい	な人の死というよりも、自然災害や戦争、交通事故などで命	<追悼(新 I - 169・学 II -149)	北信越	Δ	+ 右手でお参り)	ラベルの追加	仏・拝む>のA・Bを作ることでまとまった。
65	慰霊	を絶たれた人に向けた思いを 表す言葉である。	>との使い分け を検討してくださ	東海	Δ	「拝む」にラベル追加	<慰霊B>	<慰霊A> ⇒<祈る・祈祷>と同じ
		「追悼」は亡くなった人と親し かった人がその死を悲しんだ	V .0	近畿	0	死ぬ + 拝む	へ △ ラベルの追加	(両手を合わせ頭を少し下げる) ※東北班・東海班・中国班の案を採用
		り、思い出したりする行為を指 し、慰霊は故人の死後の幸福		中国	Δ	合掌	ノ・ハルの担加	<慰霊B>
		を祈る気持ちを表す。(家族葬のファミーユ)		四国	•	/霊(学1-423)/祈る		→ < 仏 > と同じ(少しすり合わせる)
		, , ,		九州	•	非利き手「追悼」拝むをのこす + 幸福		
				北海道	0	「霊」+右手の平を下、その上に左手「ほ」		<慰霊A><慰霊B>に、標準手話の<碑>を
		事故や戦争、災害などで亡く		東北関東	© •	(折り + 碑)		へ恋量Rノへ恋量Bノに、標準手品のへ併ノを 組み合わせることとした。
		なった人や動物の霊を慰めるために建立された石碑。鎮魂		北信越	ア	左手でお参り + 右手は指文字「ほ」(碑を表現)	<慰霊碑A> ●	<慰霊碑A> ⇒<がろ。が海。財業A>+<確>
66	いれいひ	碑などともいう。 霊を慰めるためや、二度とそのようなことが	<碑(2014-41) >	東海	0	「慰霊」→「碑」	組み合わせ	⇒<析る・析持・慰霊A>+<碑> ※東海班の案を採用
00	慰霊碑	ないように戒めることや、警告といった意味をもち、それに	「慰霊」の標準手 話無し	近畿	0	拝む + 建物	<慰霊碑B>	<慰霊碑B> ⇒<仏>+<碑>
		沿った文言が碑文として刻ま		中国	•	合掌 + 碑	組み合わせ	標準手話のく碑>…左手甲の上に掌を手前に
		れる。(ウィキペディア)		四国	•	/霊(学1-423)/祈る/碑を表現		向けた右手の手首をのせる。 ※実際の場面では碑の形に合わせた表現を。
				九州	•	非利き手「追悼」拝むをのこす + 幸福 + 形 (その形にあわせる)		
				北海道	0	「霊」+左手はそのままに右手のみ「式」		
				東北	0	祈り + 集まる	, P	<慰霊碑>と同様に、<慰霊A><慰霊B>を使うが、「祭」は<式B>(お辞儀をイメージした
				関東北信越	ア	煙 / 式典 両手でお参り + 式(巻物を広げて読むしぐさ)	<慰霊祭A> ●	表現)で表現することとした。
67	いれいさい 慰霊祭	死者の霊を慰め、鎮めるため に行う祭式。(goo辞書)	<偲ぶ(続①- 80・学Ⅱ-149)>	東海	0	「慰霊」→「お祓い(榊を振る)」	組み合わせ	<慰霊祭A> ⇒くがス。が焼。財費 A > + <オロ> (おじぎ)
	心显尔	(C)17宗政。(g00叶音)	00 , 11 110/	近畿	0	拝む + 人が集まる様子	<慰霊祭B> ●	⇒<祈る・祈祷・慰霊A>+<式B>(おじぎ) ※中国班の案を採用
				中国	•	合掌 + 式	組み合わせ	<慰霊祭B> ⇒<仏>+<式B>(おじぎ)
				四国 九州	•	/霊(学1-423)/祈る/式 非利き手「追悼」拝むをのこす + 幸福 + 祭		(1000)
						(D)左手縦に+右手「用事B」		
		亡くなった方の冥福を祈って、 僧侶にお経を唱えてもらい、		北海道	0	②左手縦+右手「に」前に出し人差し指で「I」		
		供養をする仏教儀式のこと。 忌日法要:7日ごとに行われる	<法事(2006- 84)>	東北	0	年 + 祈り		「法要」は、住職による読経や参列者の焼香など、ご供養をするために行う仏教の儀式のことを
		法要、初七日や四十九日な		関東	0	右手掌上向きで上に動かす / 寺		指す。一方で「法事」は、住職の読経によって故 人を供養する「法要」と、その後の会食などを含 めた仏教行事全般を指す。そのため、<寺>の
68	^{ほうよう} 法要	こ。 月忌法要:月命日の法要、 年忌法要:年単位の命日に行		北信越東海	Δ	寺(お参り + 木魚) 「寺(木魚を叩く)」にラベル追加	ア アレンジ	表現を使うこととした。
		う、一周忌や三回忌など。		近畿	0	「寺」の片手を叩く様子		⇒<寺B>の1動作目(人差指) (<寺B>のアレンジ)
		追悼法要:追悼の意を込めて 行う、百カ日法要やお盆、お		中国	Δ	お寺		※北信越班・中国班の案を採用
		彼岸の法要。(京王メモリアル)		四国	•	/拝む/寺		Wildings Established
				九州		拝む + 日にち		
				東北	<u> </u>	右手腕を立て肘のところで、右手「場所」 指文字「ホ」+ 拠地 + 場所		9班の<基づいて>を使った表現案を参考にして、「★加」に「★加州」を区別せて表現を参考にし
		「本拠」…根本のよりどころとな		関東	保	基礎 / 場所	<本拠>	て、「本拠」と「本拠地」を区別する表現を考案した。
		る場所。根拠。 (例:「活動の本拠を大阪に置		北信越	ア	本当 + あたり + 場所	○合成	<本拠> ⇒<基づいて>の左肘の下で右手で水平円
69	ほんきょち 本拠地	く」「生活の本拠」など)	<拠点(2021- 67)>動画サイト	東海	ア	左手を「基本」、右手を左手肘下で水平に円を 描いてから「場所」	<本拠地>	を描く (<基づいて>と<拠点>の合成)
		「本拠地」…本拠とする場所。 活動のよりどころとなる所。		近畿	ア	「基本」の隣に「所」を表現	(十) (2)(4) (4)(4) (4) (4)(4)	<本拠地>
		(goo国語辞書ほか)		中国	•	本 + 基地・?	社の日かせ	⇒<本拠>+残した左手のすぐ横で<場所 >
				四国 九州	ア •	/拠点/掌で円を描き、その位置を指し示す 本当 + 場所		※東海班の案を採用
				北海道	0	左手下・右手上でクロス、右手は左へ移動+		
				東北	_ ©	前半 + 戦う		9班の案を見ると、「前半」の表現がさまざまあっ
				関東	•	前/試合	<前半戦>	たが、<前半>の標準手話があるのでそれを使 うことに。「戦」は戦争ではなく試合を表現する。
		競技や試合などの前半の部分	< 普及(健康)	北信越	0	前半 + 戦	● 組み合わせ	<維半齢>
70	ぜんはんせん 前半戦	分。 「選挙の前半戦を有利に進め る」⇔後半戦。	<前半(続①- 123・学 I -388) >	東海	0	左手(5の形)を中央に置き(手の平を顔方面)、 右手をその位置から手の平を後ろ方面に移動	を (後半戦)	⇒<前半>+<試合> ※四国班の案を採用
	114 1 12	る」 (goo国語辞書ほか)		近畿	•	させる+「戦い」 「前半」+「戦」	•	あわせて「後半戦」も作った。
				中国	•	前+試合	組み合わせ	<後半戦> →<後半>+<試合>
				四国	•	/前半/試合		※北海道班の案を採用
				九州	•	間(右の位置で)+ 戦い		
				北海道	•	「また」+「開会A」		9班の案に使われている表現の標準手話のラ
				東北関東	© •	再び + 開く 復活 / 始める、開く		ベルを確認。 <復帰・復旧・回復・元に戻る・立ち直る・更生
		いったん閉じていたもの、中断していたものを、再び開いた		北信越	保	戻る + 始める		> <復活・復興・生き返る・返り咲く・創立>
71	さいかい 再盟	り、始めたりすること。また、再び始まること。		東海	0	「もう1回」→「始める」	● 組み合わせ	<また・再び・並びにA> <また>が合っているという意見が多く、決定し
			近畿	•	「再び」+「開く」	/ 1 1 2	た。	
			中国		戻る、再び + 開く		⇒<また・再び・並びにA>+<始めるB・開けるA・開会・開始>	
				四国 九州	•	/起こす(再び)/開く/ 又 + 始める		※北海道班・九州班の案を採用
	ĺ			76711		入 名のの		

			北海道	•	「また」+「会う」		
			東北	0	再び + 会う		
			関東	保	久しぶり / 会う		<再開>を参考にして、<再会>も考案。
	J-1, J-1,	長く別れ別れになっていた人 どうしが、再びめぐりあうこと。	北信越	保	A 又+合う B 久しぶり+合う		⇒<また・再び・並びにA>+<会う>(左右 から)
72	きいかい	(例:「再会を期す」「三○年ぶりに再会した友」など)(goo国	東海	0	「もう1回」→「会う」	組み合わせ	(<会う>は、状況に合わせて前後の動作に)
		語辞書ほか)	近畿	•	「また」+「会う」		※北海道班·東北班·北信越班B·近畿班·中
			中国	•	また会う /起こす(再び)/会う/		国班・九州班の案を採用
			九州	•	又 + 会う		
			北海道	•	右手のひら下に向け右手指文字「た」をのせ、		
			東北	0	下におろす 降りる		9班の案を見ると、右手親指を左手甲から下ろ
			関東	保	引退、退く		す班と手のひらから下ろす班があった。前者は位が高い意味があり、後者は尊敬の意味を表
	+ 1 > 1 = 1	任務をやめること。役目をしり ぞくこと。	北信越	保	左手の甲から + 親指を立てた右手を降ろす	^	す。 どちらの表現が合うか検討した結果、甲から下
73	たいにん 退任	(例:「任期途中で退任する」など)	東海	Δ	「辞任・引退」にラベル追加	ラベルの追加	ろす表現を採用した。状況によって手の位置は 変わる場合がある。
		(goo国語辞書ほか)	近畿	ア	親指をたてて、片手の平から降りる		⇒<引退・退位・辞任>と同じ(左手甲から)
			中国	Δ	降りる (※北海道班・東北班・関東班・北信越班の案 を採用
			九州	•	/責任/辞める/ 責任 + 降りる		230/1
			北海道		「決める」+ 右手のひら下に向け右手指文字		
		白と由1 川マム知・幼はよい		0	「た」をのせ、下におろす		「面混り仕 白た由」山もの め ご もの デリノ
		自ら申し出て会社を辞めたり、 職や立場を退いたりすることを	東北	© •	提出 + 降りる 決意 / 退任		「勇退」は、自ら申し出たり、決心したりして退くことだが、自分から言う言葉ではない。周りの人
		意味する言葉で、後進や後輩 に立場を譲るときやいさぎよく	北信越	ア	「「「「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「「」」「」「」「		が敬意を払う意味で使うことが多いので、9班の 案にある<決めるA>+<降りる>の表現は合
74	ゆうたい 勇退	立場を退くときに用いられる。 主に、実績のある人が、立場を	東海	0	「決意する」→「辞任・引退」	△ ラベルの追加	わない。 シンプルに、<引退・退位・辞任>と同じ表現
	为 达	譲るときに、周りの人が敬意を 払う意味で用いられることが多	近畿	ア	尊敬して、片手の平から降りる	у - у г v у Д <u>Б</u> /Лг	で良いということで意見がまとまった。
		い表現。	中国	•	任せ + 降りる		⇒<引退・退位・辞任>と同じ(左手甲から)
		(ビジネスチャット)	四国	ア	掌に乗せた親指(上の方で表現)を下にゆっくり おろす		※班の案の採用なし
			九州	•	任せる + 降りる		
			北海道	•	「申し込み」+「欠席」		
			東北	0	自分 + 降りる		日本語で「辞退」と言うとき、遠慮する・(依頼されて)断る、の2つの意味があるので、A・Bの2 種類を作ることに。
		勧められたことを遠慮して断る	関東	Δ	A断る B辞める、辞退(する)	<辞退A>	
	じたい	こと。また、自分の既得の地位・権利などを遠慮して放棄	北信越	ア	A 辞める B 遠慮する 「断る」にラベル追加	△ ラベルの追加	<辞退A>
75	辞退	すること。	東海	Δ	(※別の意味で わたしたちの手話学習辞典 P.67記載あり)	<辞退B>	⇒< 遠慮・謙譲・控える③ >と同じ ※北信越班Bの案を採用
		(例:「出場を辞退する」など) (goo国語辞書ほか)	近畿	ア	「断る」	△ラベルの追加	<辞退B>
			中国	Δ	やめる	ク・ ジャッ ク短加	⇒< 断る・峻拒・抑止・防ぐB >と同じ ※関東班A・東海班・近畿班の案を採用
			四国	ア	掌に乗せた人差し指を外す		
			九州	•	辞める		
			東北	0	「発表」+「マーク」+「タワー」 報告 + 有名		
		① 企業や団体の宣伝のため に目立つ所に設置された構造	関東	•	呼びかける / 表す		広告塔は、宣伝の役割を担う人を指すこともあるが、文字通り「塔」のさまを表現することでまと
		物。 (例:「ビル屋上の広告 塔」など)	北信越	ア	広告 + 顔が広い	ア●	まった。
76	こうこくとう 広告塔	②企業や団体の宣伝の役割	東海	O7	「広告」→(細長い)「建物」	アレンジとの	⇒<広告>の2動作目+指先を前に向け両手
	A14	を担う有名人。 (例:「党の広告塔として活躍	近畿	•	A) 広告+塔 B) 広告+人	組み合わせ	掌を向き合わせ上へ上げる (2動作目は<ビル>のアレンジ)
		する」「動く広告塔」など) (goo国語辞書ほか)	中国	•	広報 + 表す		※班の案の採用なし
		(0 Male) [1-11)	四国	ア	/広告/の表現を前方に出す		
			九州	•	宣伝 + 出る 「指定」+「涼しい」+「施設」		
	していしょねつひな	気候変動適応法に基づいて、	東北	0	空気 + 屋内 + 地定 + 場所		
	指定暑熱避	適当な冷房設備を有する等の 要件を満たす施設を、誰もが	関東	•	そこ(指差し)/涼しい/場所		「涼しい+避難所」というよりも、「気温が上がる」
	41+0 ((-114	利用できる暑さをしのげる施設 として、市町村長が指定した	北信越	0	気温上昇 + 避難所	_	表現と、そこを避けるという表現が必要という意見があり、<気温(あがる)>+<避難所>とし
77	難施設(クー	施設のこと。熱中症特別警戒	東海	0	「涼しい」→「避難」「所」	● 組み合わせ	た。
	リングシェル	情報(熱中症特別警戒アラー ト)が発表されたときに、あらか	近畿	•	涼しい + 施設		⇒<気温>(あがる)+<避難所>
		じめ公表している開放可能日 等において開放することとなっ	中国	•	暑い + 逃避 + 場所		※北信越班の案を採用
	ター)	ている。(愛知県HP)	四国	•	/指定/熱い/逃げる/施設		
			九州	•	涼しい + 指定 + 施設 「事前」+「文章」		
		① 前の方に書いた文。(例:	東北	0	前半十人		
	ぜんぶん	「前文に述べたとおり」など) ② 手紙の冒頭に書く、時候の	関東	0	上/折り曲げた右手二指を左から右へ〈文、段		「前文」は、主に日本国憲法や条例などに用いられ、「ぜんぶん・まえぶん」の両方の読み方が
	前文(ぜん	あいさつや安否のうかがいな	北信越	0	落) 前(後方)+ 文		あるのでラベルに追記する。 9班の案を見ると、横に<文章>を表す班があ
78	ぶん・まえぶ	どの文。 ③ 法令の条項の前に置かれ	東海	0	「最初」→「文章」	● 組み合わせ	るが、憲法などは縦書きが基本なので、縦に表現したい。
	<i>∾</i> ル・まんか	ている文章で、制定の趣旨や 基本原則などを記すもの。まえ	近畿	•	前+文	//ユペア 日 4ノ ビ	⇒<過去(前)·事前>+<文章>
	ん)	がき。 (例:「憲法前文」など) (goo	中国	•	上の線 + 文		
		国語辞書ほか) (goo	四国	•	/前もって/文		※礼仰退班*礼信隧班の条を採用
							※北海道班・北信越班の案を採用

i .								
				北海道	•	「世話」+「人たち」(1回)		
				東北	0	発明 + 人		
				関東	Δ	アイデア、発想/人(空書)		9班の案を見ると、ほとんどの班が<アイデア> を使っているが、「人」の部分は<人々>と<人
		① 思いたって事を始める人。		北信越	0	思いつく + 人々		>(空書)に分かれていた。「発起人」は個人を 指すので<人>を使うことに。
79	ほっきにん 発起人	発起者。 ② 株式会社の設立を企画し		東海	0	「発想・思いつく」→「人」	● 組み合わせ	1
	て、定款に署名した者。			近畿	•	発明 + 人	ルエットロックで	⇒<アイデア>+<人>(人差指で空書)
			中国	•	発明 + 人		※東北班・関東班・東海班・近畿班・九州班の 案を採用	
			四国	•	/きっかけ/人(人差し指)		来在环角	
				九州	•	思いつく + 人		
				北海道	•	「突然」+「暴風」		
	不安定になって積乱雲/ に発達したときに発生す それがあります。 突風にはおもに3つの種 あります。	突風は、大気の状態が非常に 不安定になって積乱雲が急激 に発達したときに発生するお		小い砂に		, this		
				東北	0	甲を前に向けて立てた右人差し指を回しながら 右上方へ上げる		
				関東		突然/風		9班の案を見ると、ほぼく突然>+<風>の組
		あります。	<つむじ風(2016	関果	•	矢然 / 風		み合わせ。<風>を2回表現する班が多かったが、突風のイメージからく風>の表現を1回とした。 <風>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		①強い上昇気流によって発生 するのが「竜巻」。		北信越	0	突然 + 風		
	とっぷう	② 積乱雲から吹きおろす強い			_	Forter feb. First	•	
80	突風		<竜巻B(2020- 17)>	東海	0	「突然」→「風」	組み合わせ	<風>を2回の班…北海道・東海・中国・四国・ 九州
	7 4,7-11	スト」。吹き出す範囲は、数百	11) >	近畿	•	突然 + 風		1 - 2/11
		メートルから10キロ程度とされ ていまる。						⇒<突然・出し抜け>+<風>(1回)
	③積乱雲から吹き出した冷 い空気の塊が温かい空気の	③積乱雲から吹き出した冷たい空気の地が追かい空気の地が		中国	•	突然 + 風		※関東班の案を採用
		に流れ出すことにより発生する		四国	•	/突然/風/		
		「ガストフロント」。(NHK今か に防災)						
	ら防災)	(کو رواد)		九州	•	突然 + 風		